

平成30（2018）年度

教養教育ガイド

富 山 大 学

目 次

平成30年度 富山大学学年暦	1
平成30年(2018年)度カレンダー	2
はじめに	3
I 富山大学における教養教育について	4
1 富山大学の教育方針	4
(1) ディプロマ・ポリシー	4
(2) カリキュラム・ポリシー	4
(3) アドミッション・ポリシー	4
2 富山大学教養教育カリキュラム・ポリシー	5
(1) 教育課程編成方針	5
(2) 教育課程実施方針	5
(3) 学修内容	5
① 人文科学系	5
② 社会科学系	5
③ 自然科学系	5
④ 理系基盤教育系	5
⑤ 医療・健康科学系	5
⑥ 総合科目系	5
⑦ 外国語系	6
⑧ 保健体育系	6
⑨ 情報処理系	6
(4) 学修方法	6
(5) 学修成果の評価方法	6
II 教養教育における授業の仕組み	7
1 学年・学期・授業時間	7
(1) 学年	7
(2) 学期	7
(3) 授業時間	7
2 教養教育における卒業要件単位	7
3 必修科目	7
(1) 必修科目	7
(2) クラス指定科目	7
4 選択科目	8
(1) 選択必修科目	8
(2) 選択科目	8
5 自由科目	8
6 地域志向科目	8
7 科目・単位・成績	9
(1) 科目・単位	9
(2) 成績の評価	9
(3) GPA (グレード・ポイント・アベレージ)	9
8 各学部・学科における卒業要件単位一覧及び平成30年度教養教育開設授業科目一覧	10
(1) 各学部・学科における卒業要件単位一覧	10
(2) 平成30年度教養教育開設授業科目一覧	20
9 シラバス	28
10 ヘルン・システム(富山大学 学務情報システム)	28
11 その他	28
(1) 教員免許取得に必要な教養教育科目	28

III 履修登録	29
1 履修計画	29
2 年次・学期ごとの履修上限単位数（CAP制）	29
3 履修登録及び事前登録について	29
4 必修科目履修登録	29
(1) 必修科目（クラス指定科目）の履修登録	29
(2) 「健康・スポーツ/実技」の履修登録	30
(3) その他の必修科目の履修登録	30
5 選択必修科目履修登録（医学部医学科及び薬学部のみ対象）	31
6 選択科目事前登録	31
7 英語以外の外国語事前登録	32
(1) 英語以外の外国語について	32
(2) 発展多言語演習について	35
8 選択科目の抽選	36
9 集中講義履修登録	36
10 外国人留学生の履修登録について	36
(1) 外国人留学生を対象とした教養教育科目について	36
(2) 外国語履修登録	37
11 履修登録科目の確認・修正	37
(1) 履修登録科目の確認	37
(2) 履修科目追加登録及び修正登録	37
IV 履修上の注意	38
1 教室	38
2 出欠管理システム	38
3 欠席の取扱い	38
(1) 欠席の取扱いについて	38
(2) シャトルバス遅延等に係る取扱いについて	38
4 授業に関する諸連絡（休講・補講・試験等）	38
5 レポートの提出	38
(1) レポート課題について	38
(2) レポート提出について	39
6 「健康・スポーツ/実技」履修上の注意	39
(1) 服装について	39
(2) 「学生教育研究災害傷害保険」の加入について	39
(3) 定期健康診断の受診について	40
V 単位認定	41
1 試験	41
2 不正行為	41
3 追試験	42
4 成績評価の確認	42
(1) 成績評価の確認	42
(2) 成績評価に対する異議申立て	42
5 不可となった科目の取扱い	43
(1) 再履修	43
(2) 再試験	43
6 既修得単位等の認定	43
(1) 入学前の既修得単位の認定	43
(2) 大学以外の教育施設等における学修の認定	44
VI 地域課題解決型人材育成プログラム	45
1 地域課題解決型人材育成プログラム	45
2 COC+ 科目群	45
(1) 地域志向科目群	45
(2) 地域課題解決科目群	45
(3) 地域関連科目群	45
VII 関係規則	46
1 富山大学教養教育履修規則	46
2 富山大学教養教育追試験内規	73
3 富山大学教養教育再履修内規	74
4 富山大学教養教育再試験内規	74
巻末資料	75
各種担当窓口・緊急時の問い合わせ窓口	75

平成 30 年度 富山大学学年暦

	五福キャンパス 高岡キャンパス		杉谷キャンパス	備 考
	クォーター制	セメスター制	セメスター制	
入学式(4月期)	4/5(木)			
新入生 オリエンテーション	4/4(水), 4/6(金)			
前学期授業期間	4/11(水)~6/1(金) 6/11(月)~7/30(月)	4/11(水)~7/30(月) (4/2(月)~8/6(月) 8/27(月)~9/28(金) 医学科2,3,4年次のみ)		
補講・試験期間(※)	6/4(月)~6/8(金) 7/31(火)~8/6(月)	7/31(火)~8/6(月)	7/31(火)~8/6(月) 9/3(月)~9/28(金)	
夏季休業期間	8/7(火)~9/30(日)		8/7(火)~8/31(金) (8/7(火)~8/24(金) 医学科2,3,4年次のみ)	
学位記授与式 (9月期)	9/28(金)			
開学記念日	10/1(月)			入学式(10月期) 10/1(月)
後学期授業期間	10/3(水)~11/21(水) 11/30(金)~12/25(火)	10/3(水)~12/25(火) (10/2(火)~12/27(木) 医学科2,3,4年次のみ)		
冬季休業期間	12/26(水)~1/6(日)		(12/28(金)~1/3(木) 医学科2,3,4年次のみ)	
後学期授業期間	1/7(月)~2/1(金)		(1/4(金)~3/22(金) 医学科2,3,4年次のみ)	1/18(金)は休講 (大学入試センター試験準備)
補講・試験期間(※)	11/22(木)~11/29(木) 2/4(月)~2/8(金)	2/4(月)~2/8(金)	2/4(月)~2/18(月)	大学入試センター試験 1/19(土), 20(日)
春季休業期間	2/9(土)~3/31(日)		2/19(火)~3/31(日) (3/23(土)~3/31(日) 医学科2,3,4年次のみ)	一般入試(前期日程) 2/25(月), 26(火) (26日は、医学部医学科のみ実施)
学位記授与式 (3月期)	3/26(火)			一般入試(後期日程) 3/12(火), 13(水) (13日は、医学部医学科のみ実施)

※ クォーター制の補講・試験期間には授業を含む。

○オープンキャンパス日程

五福キャンパス：8/3(金) 工学部, 都市デザイン学部
 8/4(土) 理学部, 工学部, 都市デザイン学部
 8/8(水) 人文学部, 人間発達科学部, 経済学部
 高岡キャンパス：8/4(土) 芸術文化学部
 杉谷キャンパス：8/7(火) 医学部医学科
 8/8(水) 医学部看護学科
 7/15(日) 薬学部(※)

※「楽しい薬学部への一日体験入学」(日本薬学会北陸支部主催)として実施予定

○大学祭日程

五福キャンパス：10/6(土)~7(日)
 高岡キャンパス：10/13(土)~14(日)
 杉谷キャンパス：10/19(金)~21(日)
 (大学祭準備等のため、10/19(金)午後は休講(杉谷キャンパスのみ)。

〔セメスター制〕平成30年（2018年）度カレンダー

学期・月	日	月	火	水	木	金	土	学期・月	日	月	火	水	木	金	土		
前学期	4	1	2	3	4	5	6	7	後学期	1	2	3	4	5	6		
		8	9	10	①11	①12	①13	14		7	8	①9	②10	②11	②12	13	
		15	①16	①17	②18	②19	②20	21		14	②15	②16	③17	③18	③19	20	
		22	②23	②24	③25	③26	③27	28		21	③22	③23	④24	④25	④26	27	
		29	30							28	③29	④30	⑤31				
	5			③1	月③2	3	4	5						⑤1	⑤2	3	
		6	④7	④8	④9	④10	④11	12		4	④5	⑤6	⑥7	⑥8	⑥9	10	
		13	⑤14	⑤15	⑤16	⑤17	⑤18	19		11	⑤12	⑥13	⑦14	⑦15	⑦16	17	
		20	⑥21	⑥22	⑥23	⑥24	⑥25	26		18	⑥19	⑦20	月⑦21	金⑧22	23	24	
		27	⑦28	⑦29	⑦30	⑦31				25	⑧26	⑧27	⑧28	⑧29	⑨30		
	6						⑦1	2								1	
		3	⑧4	⑧5	⑧6	⑧7	⑧8	9		2	⑨3	⑨4	⑨5	⑨6	⑩7	8	
		10	⑨11	⑨12	⑨13	⑨14	⑨15	16		9	⑩10	⑩11	⑩12	⑩13	⑪14	15	
		17	⑩18	⑩19	⑩20	⑩21	⑩22	23		16	⑪17	⑪18	⑪19	⑪20	⑫21	22	
		24	⑪25	⑪26	⑪27	⑪28	⑪29	30		23	24	⑫25	26	27	28	29	
	7	1	⑫2	⑫3	⑫4	⑫5	⑫6	7					1	2	3	4	5
		8	⑬9	⑬10	⑬11	⑬12	⑬13	14		6	⑫7	⑬8	⑫9	⑫10	⑬11	12	
		15	16	⑭17	⑭18	⑭19	⑭20	21		13	14	月⑬15	⑬16	⑬17	◇⑬18	19	
		22	⑭23	⑮24	⑮25	⑮26	⑮27	28		20	⑭21	⑭22	⑭23	⑭24	⑭25	26	
		29	⑮30	⑯31						27	⑮28	⑮29	⑮30	⑮31			
	8				⑯1	⑯2	⑯3	4							⑮1	2	
		5	⑯6	7	8	9	10	11		3	⑯4	⑯5	⑯6	⑯7	⑯8	9	
		12	13	14	15	16	17	18		10	11	12	13	14	15	16	
		19	20	21	22	23	24	25		17	18	19	20	21	22	23	
		26	27	28	29	30	31			24	25	26	27	28			
	夏季休業							1		春季休業						1	2
		2	3	4	5	6	7	8			3	4	5	6	7	8	9
		9	10	11	12	13	14	15			10	11	12	13	14	15	16
16		17	18	19	20	21	22	17	18		19	20	21	22	23		
23		24	25	26	27	28	29	24	25		26	27	28	29	30		
30								31									

5月2日は月曜日の授業を行う。

11月21日は月曜日の授業を行う。

11月22日は金曜日の授業を行う。

1月15日は月曜日の授業を行う。

授業期間
補講・試験
夏季一斉休暇

履修登録等関連日程	
4月4日～8日	教養教育事前履修登録期間
4月9日～10日	教養教育履修確定科目通知日・調整日
4月9日～17日	学部等履修登録期間
4月11日～5月1日	履修修正・取消期間
9月3日	成績開示 (9月卒業・修了予定者は、別途指定する場合があります)

履修登録等関連日程	
9月25日～28日	教養教育事前履修登録期間
10月1日～2日	教養教育履修確定科目通知日・調整日
10月1日～9日	学部等履修登録期間
10月3日～23日	履修修正・取消期間
2月19日	成績開示〔最高学年〕
3月11日	成績開示〔最高学年以外〕

行事	
4月4日	新入生オリエンテーション
4月5日	入学式・新入生オリエンテーション
4月6日	新入生オリエンテーション

行事	
10月1日	開学記念日
1月18日	大学入試センター試験準備 1日休講
1月19日～20日	大学入試センター試験
2月25日	一般入試（前期日程）
3月12日	一般入試（後期日程）

△:開学記念日

◇:センター試験準備のため1日休講

はじめに

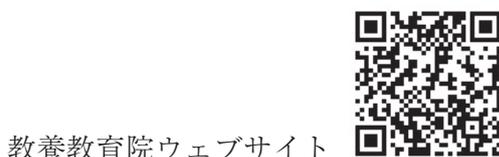
新入生の皆さん、入学おめでとうございます。富山大学は平成30年度から「都市デザイン学部」を新設し、9学部になりました。また、全ての学修の基礎となる「教養教育」を9学部全ての学生を対象に五福キャンパスで実施することとなりました。

これから皆さんは、この富山大学において様々な専門に関する知識・技術を修得するために、多くの専門教育を学ぶとともに、学問のすそ野を広げ、豊かな人間性と創造的問題解決能力を養うため、全学部共通の「教養教育」を学ぶこととなります。

大学では、高等学校等とは違い、授業時間割の作成や履修登録、卒業に必要な単位の確認等、様々なことを全て自分の責任で行わなければなりません。この教養教育ガイドは、そのために必要な教養教育に関する様々な情報がまとめられています。本学の教養教育を有意義に学べるよう、授業開始までに内容を熟読し、卒業までの間、十分に活用してください。

なお、本ガイドを読んで不明な点や疑問に思う点があれば、学務課教養教育支援室又は所属学部の教務担当窓口（P.75「巻末資料 各種担当窓口一覧」参照）を訪ねてください。

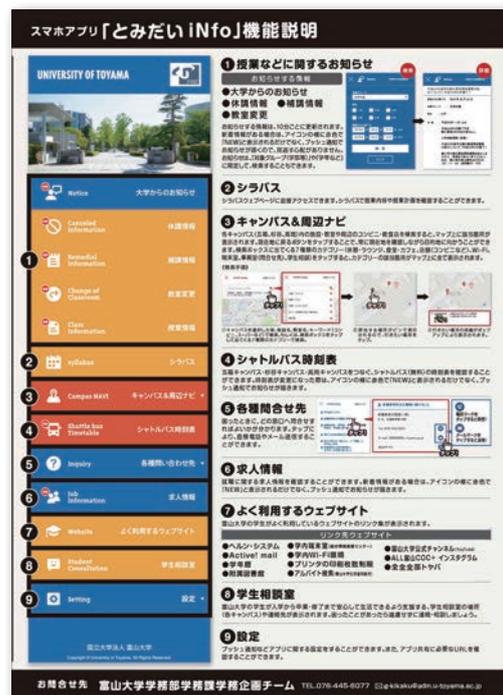
また、本学では、教養教育に関する情報発信として、教養教育院ウェブサイトを開示しているほか、在学者を対象としたスマートフォン用アプリケーション「とみだい iNfo」により情報を公開しています。スマートフォン用アプリケーションでは、キャンパス内や周辺のナビゲーション等様々な機能を利用できますので、併せて活用してください。



教養教育院ウェブサイト
URL <http://www.las.u-toyama.ac.jp>



とみだい iNfo (Android 版) (iPhone 版)



I 富山大学における教養教育について

1 富山大学の教育方針

(1) ディプロマ・ポリシー

富山大学は、地域と世界に向かって開かれた大学として、生命科学、自然科学と人文社会科学を総合した特色ある国際水準の教育及び研究を行い、人間尊重の精神を基本に、高い使命感と創造力のある人材を育成し、地域と国際社会に貢献するとともに、科学、芸術文化、人間社会と自然環境との調和的發展に寄与することを理念としている。

本学では、この理念に基づいて、幅広い知識や深い専門的学識を持ち、問題提起し解決する能力、組織や社会の一員として貢献する能力、他者と意思を疎通するコミュニケーション能力、新しいものやことを創造する能力、地域を志向する意識を身に付け、各学部が示す学修成果を上げた者に学士の学位を授与する。なお、その身に付ける能力を以下のとおり示す。

○幅広い知識

自然・社会・文化・人間について幅広く普遍的な知識を持ち続け、自立した市民として社会生活に活かす能力を身に付けている。

○専門的学識

それぞれの専門性に応じた深い知識を持ち、活用する能力を身に付けている。

○問題発見・解決力

自ら問題を発見し、情報や知識を複眼的、理論的に分析して問題を解決するとともに、新たに様々なものやことなどを創り出す能力を身に付けている。

○社会貢献力

組織や社会の一員として自らの役割を認識し、責任を持って自己を管理するとともに、倫理観と使命感を持って自ら行動し、地域と国際社会に貢献する能力を身に付けている。

○コミュニケーション能力

他者の考えを理解し、自らも情報発信する能力を身に付けている。また、適切な手段や言語を使い、多様な人々との意思疎通と協働を可能にする能力を身に付けている。

(2) カリキュラム・ポリシー

富山大学では、卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）に示した5項目の能力について、体系的な教育課程を編成する。授業は講義・演習・実験・実習・実技の様々な方法・形態等により行い、学生が主体的・能動的に学ぶことができるものとする。その評価は各能力における学修成果の到達目標に対する達成度について、客観的な成績評価基準に基づいて行う。

(3) アドミッション・ポリシー

富山大学は、本学が掲げる教育理念、卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）に基づき、人文科学、社会科学、自然科学、生命科学、保健医療及び芸術文化の各分野に高い関心を持ち、幅広く豊かな教養と専門的な知識や技術を活かして、地域と国際社会に貢献しようとする高い志を持つ者を受け入れる。

そのため入学者選抜の基本方針として、複数の受験機会や多様な学生を評価できる入試を提供する。

2 富山大学教養教育カリキュラム・ポリシー

教養教育院は、地域社会及び国際社会において活躍できる、豊かな人間性と創造的問題解決能力を持つ人材の育成を目指し、学修の基礎となる幅広い知性・知恵・実践的能力の形成と市民的公共性・社会的公共性・本源的公共性を身に付けるための全学共通の教養教育を次のとおり編成し、教養教育の評価基準に基づき、学修成果を評価する。

(1) 教育課程編成方針

中等教育との連続性に配慮し、教育課程を体系的に編成するとともに、次に掲げる系に様々な授業科目を設け、多様な能力を養う全学共通の授業科目で編成する。

なお、教養教育は一部の授業科目を除き、五福キャンパスで開講し、全学生に多彩な選択肢を提供する。

(2) 教育課程実施方針

教養教育では、学修の基礎となる幅広い知識を身に付けるため、次に掲げる系に様々な授業科目を設け、講義、演習、アクティブ・ラーニング等を取り入れた学生参加型授業、フィールドワーク、実験・実習等により、幅広い知性・知恵・実践的能力の形成を全学共通で実施する。

(3) 学修内容

①人文科学系

人文科学全般に及ぶ幅広い知識と教養を修得し、様々な立場や分野の人々と協同し対話できる力、総合的に考える力及び自己表現力を身に付ける。

②社会科学系

様々な社会事象において、経済・経営・法などが相互に密接に関連している現実に鑑みて、経済学、経営学及び法学を中心とした社会科学全般の基礎的な知識、地域及び世界を適切に理解する能力を身に付ける。

③自然科学系

自然現象や科学技術を理解するための基礎となる、知識と論理的思考法を学び、様々な分野の人々と協同し、対話できる力、総合的に考える力を身に付ける。

④理系基盤教育系

理系専門分野の基盤となる、実践的な自然科学の基礎専門知識を身に付ける。

⑤医療・健康科学系

生命、特に人体の働きに関する様々な知識を学修することにより、心も身体も健やかな社会生活を送るための基礎となる、医学的・社会的知識及び医療に関する最新の科学的素養を身に付け、個人のみならず、広く人類の健康・保健に寄与できる力を育む。

⑥総合科目系

地域社会、国際社会及び学際における現代の諸課題に対し、既存の学問分野の枠組みを超えて学び、課題解決に向けて考える力、多角的なものの見方、思考態度を総合的に身に付ける。

⑦外国語系

文化・習慣・言語を異にする他者と協働するため、国際共通語としての英語によるコミュニケーション能力を身に付ける。また、英語以外の言語の基礎を学ぶことを通じて、国際的な行動力の幅を広げるとともに、世界の多様性の認識、異文化の理解を深める。

⑧保健体育系

健康及びスポーツについての理論を学び、運動・スポーツの合理的、計画的な実践を通して、生涯にわたってのスポーツライフを楽しむ資質や能力を育む。

また、健康の保持増進のための実践力を育成し、体力の向上を図る。

⑨情報処理系

文書作成，データ処理，プレゼンテーションなど基本的な情報リテラシーに加え，情報倫理，情報セキュリティに関する知識と技術を身に付ける。

(4) 学修方法

学生は、教養教育が提供する多様な授業科目から、主体的・能動的に授業科目を選択することで、幅広い分野の知識を身に付ける。さらに、アクティブ・ラーニング等を取り入れた学生参加型授業やICT機器を活用した授業、少人数授業等により、理解度を向上させる。

(5) 学修成果の評価方法

- ①成績評価の基準・方法について、あらかじめシラバス等で詳細に公表する。
- ②単一の観点でなく、科目の性格に応じた複数の観点から、学修到達度を総合的に評価する。

Ⅱ 教養教育における授業の仕組み

1 学年・学期・授業時間

(1) 学年

学年は、4月1日に始まり、翌年3月31日に終わります。

(2) 学期

教養教育では、1学年を2分割する2学期制で実施し、それぞれを前学期（4月1日～9月30日）と後学期（10月1日～翌年3月31日）とします。両学期とも8週又は15週の授業を行います。

(3) 授業時間

授業は1回の授業時間（1時限）当たり90分で行います。時限ごとの授業時刻は次のとおりです。

時 限	時 間
1時限	8：45～10：15
2時限	10：30～12：00
3時限	13：00～14：30
4時限	14：45～16：15
5時限	16：30～18：00
6時限	18：10～19：40

2 教養教育における卒業要件単位

富山大学を卒業するには、「富山大学教養教育履修規則」（P.46）第6条の規定により、学部・学科ごとに定められた卒業要件単位を修得しなければなりません。単に修得単位の合計数が卒業要件単位を超えていればよいというのではなく、「地域志向科目の単位は修得しているか」、「各系の選択科目の必要単位は修得しているか」など、自身が所属する学部・学科の卒業要件を十分に確認してください。

学部・学科における卒業要件単位一覧及び平成30年度教養教育開設授業科目一覧については、P.10～P.27「Ⅱ-8 各学部・学科における卒業要件単位一覧及び平成30年度教養教育開設授業科目一覧」に掲載しています。

3 必修科目

(1) 必修科目

教養教育の授業科目（以下、「教養教育科目」という）には、卒業要件として必ず単位を修得しなければならない「必修科目」があります。学部・学科によって「必修科目」の指定は異なりますので、自身が所属する学部・学科が「必修科目」に指定している教養教育科目を確認し、必ず単位を修得してください。

(2) クラス指定科目

教養教育科目のうち、「英語リテラシーⅠ、Ⅱ」、「英語コミュニケーションⅠ、Ⅱ」、「健康・スポーツ/実技」及び「情報処理」は、学籍番号によって履修するクラスをあらかじめ指定しており、別クラスでの履修は認めません。新入生オリエンテーション時に「教養教育科目クラス指定割振り表」を配布しますので、自身が指定されたクラスが開講される曜日・時限を確認し、履修するクラスを間違えないよう注意してください。

4 選択科目

(1) 選択必修科目

「選択必修科目」とは、特定の教養教育科目の組合せの中から、いずれかの科目を履修し、「富山大学教養教育履修規則」によって定められた単位数を必ず修得しなければならない科目を示します。学部・学科ごとに「選択必修科目」が定められていますので、自身の学部・学科の「選択必修科目」を確認し、必ず単位を修得してください。

(2) 選択科目

「選択科目」とは、必修科目及び選択必修科目を除き、複数の教養教育科目の中から、履修を希望する科目を学生が自由に選択できる科目を示します。自身の学部・学科の卒業要件単位を確認し、修得単位数が不足しないよう注意して科目を選択してください。

卒業要件単位数を超えて教養教育科目を履修し、単位を修得した場合には自由単位として単位を認定します。この場合、修得した単位は卒業要件単位として算入しませんので注意してください。

5 自由科目

「自由科目」とは、単位は修得できますが、卒業要件単位には算入しない科目を指します。「自由科目」として履修可能な教養教育科目は学部・学科ごとに定められています。

6 地域志向科目

「地域志向科目」とは、富山大学が実施する地（知）の拠点大学による地域創生推進事業（COC+）「富山全域の連携が生み出す地方創生－未来の地域リーダー育成－」における地域課題解決型人材育成プログラムに関して、富山県に関する基礎的な要素を含む富山の歴史・経済・自然に係る教養教育科目を指します。教養教育科目における「地域志向科目」は、人文科学系、社会科学系、自然科学系、医療・健康科学系、総合科目系の一部科目が該当します。全学部において、1科目2単位（ただし、都市デザイン学部は2科目4単位）以上を修得する必要があります。

教養教育科目における地域志向科目一覧

系	教養教育科目名
人 文 科 学 系	日本の歴史と社会、言語と文化
社 会 科 学 系	現代社会論、地域の経済と社会・文化
自 然 科 学 系	地球と環境
医療・健康科学系	医療と地域社会
総 合 科 目 系	環境、現代文化、人権と福祉、環日本海、アカデミック・デザイン、ビジネス思考、万葉学、日本海学、富山大学学、とやま地域学、災害救援ボランティア論、富山学、地域ライフプラン、産業観光学、富山のものづくり概論、富山の地域づくり

7 科目・単位・成績

(1) 科目・単位

科目には、「必修科目」、「選択科目」、「自由科目」の3種類があります。「必修科目」、「選択科目」については、学部や学科、専攻（コース）ごとに卒業に必要な単位数を定めています。

また、1単位は、大学で授業を行う時間及び学生が事前学修及び事後学修を行う時間の合計45時間をもって構成されます。授業の種類・方法ごとの学修時間等は以下のとおりです。

授業の種類・方法

授業の種類・方法	大学での授業時間	授業時間外の学修時間
講義, 演習	15～30時間	30～15時間
実験, 実習, 実技	30～45時間	15～0時間

(2) 成績の評価

成績の評価は、1学期15週の授業を履修した後、授業担当教員が授業における学修態度、レポートや試験等に基づき総合的に判定を行います。成績は100点を満点として、90点以上を「秀」、80点以上90点未満を「優」、70点以上80点未満を「良」、60点以上70点未満を「可」、60点未満を「不可」とします。このうち、「秀」、「優」、「良」及び「可」を合格とします。合格した科目には単位が与えられます。

(3) GPA (グレード・ポイント・アベレージ)

富山大学では、GPA制度（GPA：履修科目の成績の平均値）を導入しています。

成績評価を下表のGP（グレード・ポイント）の数値に換算し、学期GPA、学年GPA及び累積GPAを算出します。このうち、学年GPAと累積GPAを各学年の成績通知書に記載します。各GPAの算出方法は以下のとおりです。

$$(i) \text{ 学期GPA} = \frac{(\text{当該学期の履修科目単位数} \times \text{当該授業科目のGP}) \text{の総和}}{\text{当該学期の履修科目総単位数}}$$

$$(ii) \text{ 学年GPA} = \frac{(\text{当該学年の履修科目単位数} \times \text{当該授業科目のGP}) \text{の総和}}{\text{当該学年の履修科目総単位数}}$$

$$(iii) \text{ 累積GPA} = \frac{(\text{在学期間中の履修科目単位数} \times \text{当該授業科目のGP}) \text{の総和}}{\text{在学期間中の履修科目総単位数}}$$

※履修登録科目の確認を怠り、履修しない授業科目が履修登録されている場合や、履修しなかった場合の成績は「不可」となり、GPAに算入するので注意すること。

評点に対する評価及びGPの対応表

評点	評価	GP
90点以上	秀	4
80点以上90点未満	優	3
70点以上80点未満	良	2
60点以上70点未満	可	1
60点未満	不可	0

8 各学部・学科における卒業要件単位一覧及び 平成30年度教養教育開設授業科目一覧

(1) 各学部・学科における卒業要件単位一覧

(i) 人文学部

	必修科目	選択科目	
人文科学系	—	2単位以上	地域志向科目を1科目 2単位を必ず含むこと。
社会科学系	—	2単位以上	
自然科学系	—	4単位以上	
医療・健康科学系	—		
総合科目系	—	4単位以上	
外国語系	4単位	4単位	英語以外の外国語は同一言語のみで4単位選択必修
保健体育系	2単位	—	
情報処理系	2単位		
計	8単位	16単位以上	

卒業要件単位として算入する単位の上限

1. 選択科目として16単位を超えて修得した単位は、16単位まで卒業要件単位として算入する。

ただし、各系の上限は次のとおりとする。

- ① 人文科学系で2単位を超えて修得した単位は4単位まで。
- ② 社会科学系で2単位を超えて修得した単位は4単位まで。
- ③ 自然科学系及び医療・健康科学系で4単位を超えて修得した単位は2単位まで。
- ④ 総合科目系で4単位を超えて修得した単位は2単位まで。
- ⑤ 外国語系で4単位を超えて修得した単位は4単位まで。
- ⑥ 情報処理系で修得した単位は2単位まで。

2. 卒業要件単位として算入する単位の上限を超えて修得した単位については、自由単位として単位認定をする。ただし、卒業要件単位として算入はしない。

(ii) 人間発達科学部

	必修科目	選択科目	
人文科学系	—	10 単位以上 ただし、人文科学系から 2 単位以上、社会科学系から 2 単位以上、自然科学系から 2 単位以上を含むこと。	地域志向科目を 1 科目 2 単位を必ず含むこと。
社会科学系	—		
自然科学系	—		
医療・健康科学系	—		
総合科目系	—	2 単位以上	
外国語系	4 単位	2 単位以上	英語以外の外国語は同一言語のみで 2 単位選択必修
保健体育系	2 単位	—	
情報処理系	2 単位		
計	8 単位	14 単位以上	
<p>卒業要件単位として算入する単位の上限</p> <p>1. 選択科目として 14 単位を超えて修得した単位は、医療・健康科学系及び情報処理系で修得した単位を含め、10 単位まで卒業要件単位として算入する。</p> <p>2. 卒業要件単位として算入する単位の上限を超えて修得した単位については、自由単位として単位認定をする。ただし、卒業要件単位として算入はしない。</p>			

(iii) 経済学部 (昼間主コース)

	必修科目	選択科目		
人文科学系	—	4 単位以上	} 2 単位以上	地域志向科目を 1 科目 2 単位を必ず含むこと。
社会科学系	—			
自然科学系	—	} 4 単位以上		
医療・健康科学系	—			
総合科目系	—	2 単位以上		
外国語系	4 単位	4 単位		英語以外の外国語は同一言語のみで 4 単位選択必修
保健体育系	2 単位	—		
情報処理系	2 単位			
計	8 単位	16 単位以上		

卒業要件単位として算入する単位の上限

1. 選択科目として 16 単位を超えて修得した単位は、社会科学系及び情報処理系で修得した単位を含め、10 単位まで卒業要件単位として算入する。
2. 卒業要件単位として算入する単位の上限を超えて修得した単位については、自由単位として単位認定をする。ただし、卒業要件単位として算入はしない。

(iv) 理学部

	必修科目	選択科目	
人文科学系	—	6 単位	地域志向科目を 1 科目 2 単位を必ず含むこと。 (自然科学系は含まない。)
社会科学系	—	6 単位	
自然科学系	—		
医療・健康科学系	—	} 6 単位以上	
総合科目系	—		
外国語系	4 単位	2 単位以上	英語以外の外国語は同一言語のみで 2 単位選択必修
保健体育系	2 単位	—	
情報処理系	2 単位		
計	8 単位	20 単位以上	

卒業要件単位として算入する単位の上限

1. 選択科目として 20 単位を超えて修得した単位は、12 単位まで卒業要件単位として算入する。

ただし、各系の上限は次のとおりとする。

- ① 人文科学系，社会科学系でそれぞれ 6 単位を超えて修得した単位及び自然科学系で取得した単位は、合計 4 単位まで。
- ② 医療・健康科学系及び総合科目系で 6 単位を超えて修得した単位は 4 単位まで。
- ③ 外国語系で 2 単位を超えて修得した単位は 4 単位まで。
- ④ 情報処理系で修得した単位は 2 単位まで。

2. 卒業要件単位として算入する単位の上限を超えて修得した単位については、自由単位として単位認定をする。ただし、卒業要件単位として算入はしない。

(v) 医学部医学科

	必修科目	選択科目			
人文科学系	—	} 6 単位	} 理系基盤教育系, 医療・健康科学系及び保健体育系から2単位以上を含め4単位	地域志向科目を1科目2単位を必ず含むこと。 (理系基盤教育系は含まない。)	
社会科学系	—				
理系基盤教育系	11 単位	次の組み合わせから各2単位, 計6単位 ①「解析学-A」と「解析学-B」 ②「物理学I-A」と「物理学I-B」 ③「物理学II-A」と「物理学II-B」			
医療・健康科学系	1 単位				
総合科目系	—				
外国語系	4 単位	2 単位			英語以外の外国語は同一言語のみで2単位選択必修
保健体育系	1 単位				
情報処理系	2 単位	—			
計	19 単位	18 単位			

(vi) 医学部看護学科

	必修科目	選択科目		
人文科学系	—	} 6 単位	} 5 単位	地域志向科目を1科目2単位を必ず含むこと。 (理系基盤教育系は含まない。)
社会科学系	—			
自然科学系	—	} 4 単位		
理系基盤教育系	4 単位			
医療・健康科学系	—	4 単位		
総合科目系	—			
外国語系	4 単位			
保健体育系	—	1 単位		
情報処理系	2 単位			
計	10 単位	20 単位		

(vii) 薬学部

	必修科目	選択科目	
人文科学系	—	4 単位	4 単位
社会科学系	—	4 単位	
理系基盤教育系	9 単位	次の組み合わせから各 2 単位, 計 6 単位 ①「解析学 - A」と「解析学 - B」 ②「物理学 I - A」と「物理学 I - B」 ③「物理学 II - A」と「物理学 II - B」	
医療・健康科学系	—	2 単位	
総合科目系	—		
外国語系	—	次の組み合わせから各 1 単位以上修得し, 計 6 単位修得 ①「英語リテラシー I - C」と「英語リテラシー II - C」 ②「英語コミュニケーション I - C」と「英語コミュニケーション II - C」	
保健体育系	1 単位		
情報処理系	2 単位	—	
計	12 単位	26 単位	

地域志向科目を 1 科目 2 単位を必ず含むこと。
(理系基盤教育系は含まない。)

(vii) 工学部

	必修科目	選択科目	
人文科学系	—	12 単位以上 ただし、人文科学系 4 単位以上、社会科学系 4 単位以上を含むこと。	地域志向科目を 1 科目 2 単位を必ず含むこと。 (理系基盤教育系は含まない。)
社会科学系	—		
自然科学系	—		
理系基盤教育系	—		
医療・健康科学系	—		
総合科目系	—	4 単位	
外国語系	4 単位		外国人留学生は「日本語リテラシーⅠ」、「日本語リテラシーⅡ」、「日本語コミュニケーションⅠ」、「日本語コミュニケーションⅡ」を必修とする。
保健体育系	—	1 単位	
情報処理系	2 単位		
計	6 単位	17 単位以上	

卒業要件単位として算入する単位の上限

1. 選択科目として 17 単位を超えて修得した単位は、人文科学系及び社会科学系で合計 12 単位を超えて修得した単位、自然科学系、理系基盤教育科目並びに医療・健康科学系で修得した単位を含め、10 単位まで卒業要件単位として算入する。

ただし、各系の上限は次のとおりとする。

- ① 総合科目系で 4 単位を超えて修得した単位は 2 単位まで。
- ② 外国語系で 4 単位を超えて修得した単位は 4 単位まで。
- ③ 保健体育系で 1 単位を超えて修得した単位は 1 単位まで。
- ④ 情報処理系で 2 単位を超えて修得した単位は 2 単位まで。

2. 卒業要件単位として算入する単位の上限を超えて修得した単位については、自由単位として単位認定をする。ただし、卒業要件単位として算入はしない。

(ix) 芸術文化学部

	必修科目	選択科目		
人文科学系	—	4 単位	} 3 単位以上	地域志向科目を 1 科目 2 単位を必ず含むこと。
社会科学系	—	4 単位		
自然科学系	—	} 4 単位		
医療・健康科学系	—			
総合科目系	—	4 単位		
外国語系	4 単位	2 単位		外国人留学生は外国語系科目全てを選択科目とし、当該留学生にとっての外国語科目の中から 6 単位以上
理系基盤教育系	—			
保健体育系	1 単位			
情報処理系	2 単位	—		
計	7 単位	21 単位以上		
<p>卒業要件単位として算入する単位の上限</p> <p>1. 選択科目として 21 単位を超えて修得した単位は、10 単位まで卒業要件単位として算入する。</p> <p>2. 卒業要件単位として算入する単位の上限を超えて修得した単位については、自由単位として単位認定をする。ただし、卒業要件単位として算入はしない。</p>				

(x) 都市デザイン学部

	必修科目	選択科目	
人文科学系	—	16 単位以上 ただし、人文科学系から 4 単位以上、社会科学系から 4 単位以上、総合科目系から 4 単位以上を含むこと。	地域志向科目を 2 科目 4 単位を必ず含むこと。
社会科学系	—		
自然科学系	—		
医療・健康科学系	—		
総合科目系	—		
外国語系	4 単位		
保健体育系	—	1 単位	
情報処理系	2 単位		
計	6 単位	17 単位以上	
<p>卒業要件単位として算入する単位の上限</p> <p>1. 選択科目として 17 単位を超えて修得した単位は、外国語系並びに情報処理系で修得した選択科目を含め、10 単位まで卒業要件単位として算入する。</p> <p>2. 卒業要件単位として算入する単位の上限を超えて修得した単位については、自由単位として単位認定をする。ただし、卒業要件単位として算入はしない。</p>			

(2) 平成30年度教養教育開設授業科目一覧

(i) 人文科学系

教養教育科目名	単 位 数	地 域 志 向 科 目	学部・学科名									
			人 文 学 部	人 間 発 達 科 学 部	経 済 学 部	理 学 部	医 学 部 医 学 科	医 学 部 看 護 学 科	薬 学 部	工 学 部	芸 術 文 化 学 部	都 市 デ ザ イ ン 学 部
哲学のすすめ	2		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
人間と倫理	2		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
こころの科学	2		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
現代と教育	2		○	-	○	○	○	○	○	○	○	○
日本の歴史と社会	2	*	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
東洋の歴史と社会	2		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
西洋の歴史社会	2		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
日本文学	2		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
外国文学	2		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
言語と文化	2	*	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
音楽	2		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
美術	2		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
言語表現	2		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
治療の文化史	2		○	○	○	○	○	○	○	○	-	○
異文化間コミュニケーション	2		○	○	○	○	○	○	○	○	-	○
異文化理解	2		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

※1. ◎：必修科目，○：選択科目，△：自由科目，-：履修不可，●：専門科目として開講

※2. 「異文化理解」は外国人留学生のみ履修可能

(ii) 社会科学系

教養教育科目名	単 位 数	地 域 志 向 科 目	学部・学科名									
			人 文 学 部	人 間 発 達 学 部	経 済 学 部	理 学 部	医 学 部 医 学 科	医 学 部 看 護 学 科	薬 学 部	工 学 部	芸 術 文 化 学 部	都 市 デ ザ イ ン 学 部
現代社会論	2	*	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
日本国憲法	2		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
国家と市民	2		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
経済生活と法	2		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
市民生活と法	2		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
はじめての経済学	2		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
産業と経済を学ぶ	2		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
経営資源のとらえ方	2		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
市場と企業の関係	2		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
地域の経済と社会・文化	2	*	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

※ 1. ◎：必修科目，○：選択科目，△：自由科目，－：履修不可，●：専門科目として開講

(iii) 自然科学系

教養教育科目名	単 位 数	地 域 志 向 科 目	学部・学科名									
			人 文 学 部	人 間 発 達 学 部	経 済 学 部	理 学 部	医 学 部 医 学 科	医 学 部 看 護 学 科	薬 学 部	工 学 部	芸 術 文 化 学 部	都 市 デ ザ イ ン 学 部
地球と環境	2	*	○	○	○	○	△	○	△	○	○	○
生命の世界	2		○	○	○	○	△	－	△	○	○	○
物理の世界	2		○	○	○	○	△	○	△	○	○	○
化学物質の世界	2		○	○	○	○	△	○	△	○	○	○
自然と情報の数理	2		○	○	○	○	△	○	△	○	○	○
社会と情報の数理	2		○	○	○	○	△	○	△	○	○	○
技術の世界	2		○	○	○	○	△	○	△	○	○	○
材料の科学	2		○	○	○	○	△	○	△	○	○	○
生活の科学	2		○	○	○	○	△	○	△	○	○	○
コンピュータの話	2		○	○	○	○	△	○	△	○	○	○
デザインと生物	2		○	○	○	○	△	○	△	○	○	○

※ 1. ◎：必修科目，○：選択科目，△：自由科目，－：履修不可，●：専門科目として開講

(iv) 理系基盤教育系

教養教育科目名	単 位 数	地 域 志 向 科 目	学部・学科名									
			人 文 学 部	人 間 発 達 科 学 部	経 済 学 部	理 学 部	医 学 部 医 学 科	医 学 部 看 護 学 科	薬 学 部	工 学 部	芸 術 文 化 学 部	都 市 デ ザ イ ン 学 部
解析学 - A	2		-	-	-	-	○	-	○	-	-	-
解析学 - B	2		-	-	-	-	○	-	○	-	-	-
微分積分 I - A	2		-	-	-	-	-	-	△	●	-	-
微分積分 I - B	2		-	-	-	-	-	-	△	●	-	-
微分積分 I - C	2		-	-	-	-	-	-	△	-	-	●
微分積分 I - D	2		-	-	-	-	-	-	△	-	-	●
微分積分 I - E	2		-	-	-	-	-	-	△	-	○	●
線形代数学	2		-	-	-	-	○	○	○	-	-	-
線形代数 I - A	2		-	-	-	-	-	-	△	●	-	-
線形代数 I - B	2		-	-	-	-	-	-	△	●	-	-
線形代数 I - C	2		-	-	-	-	-	-	△	-	-	●
線形代数 I - D	2		-	-	-	-	-	-	△	-	-	●
線形代数 I - E	2		-	-	-	-	-	-	△	-	○	●
自然現象のモデル化とその解析	2		-	-	-	-	○	○	○	○	-	-
物理学序説 I	2		-	-	-	●	-	-	△	○	-	-
物理学序説 II	2		-	-	-	●	-	-	△	○	-	-
物理学 I - A	2		-	-	-	-	○	-	○	-	-	-
物理学 I - B	2		-	-	-	-	○	-	○	-	-	-
物理学 II - A	2		-	-	-	-	○	-	○	-	-	-
物理学 II - B	2		-	-	-	-	○	-	○	-	-	-
物理学実験 - A	1		-	-	-	-	◎	-	-	-	-	-
物理学実験 - B	1		-	-	-	-	-	-	◎	-	-	-
基礎物理学 - A	2		-	-	-	-	-	-	△	●	-	-
基礎物理学 - B	2		-	-	-	-	-	-	△	●	-	-
現代物理学入門	2		-	-	-	-	○	○	○	-	-	-
基礎化学 - A	2		-	-	-	-	◎	-	-	-	-	-
基礎化学 - B	2		-	-	-	-	-	-	◎	-	-	-
生体有機化学	2		-	-	-	-	◎	-	-	-	-	-
化学実験 - A	1		-	-	-	-	◎	-	-	-	-	-
化学実験 - B	1		-	-	-	-	-	-	◎	-	-	-
基礎化学 - C	2		-	-	-	-	-	-	△	●	-	-
基礎化学 - D	2		-	-	-	-	-	-	△	●	-	-
基礎化学 - E	2		-	-	-	-	-	-	△	●	-	-

教養教育科目名	単 位 数	地 域 志 向 科 目	学部・学科名									
			人 文 学 部	人 間 発 達 科 学 部	経 済 学 部	理 学 部	医 学 部 医 学 科	医 学 部 看 護 学 科	薬 学 部	工 学 部	芸 術 文 化 学 部	都 市 デ ザ イ ン 学 部
量子化学入門	2		-	-	-	-	○	○	○	-	-	-
生命科学Ⅰ-A	2		-	-	-	-	◎	-	-	○	-	-
生命科学Ⅰ-B	2		-	-	-	-	-	-	◎	○	-	-
生命科学Ⅰ-C	2		-	-	-	-	-	◎	-	○	-	-
生命科学Ⅱ-A	2		-	-	-	-	◎	-	-	○	-	-
生命科学Ⅱ-B	2		-	-	-	-	-	-	◎	○	-	-
生命科学Ⅱ-C	2		-	-	-	-	-	◎	-	○	-	-
生物学実験-A	1		-	-	-	-	◎	-	-	-	-	-
生物学実験-B	1		-	-	-	-	-	-	◎	-	-	-
基礎生物学-A	2		-	-	-	-	-	-	△	●	-	-
基礎生物学-B	2		-	-	-	-	-	-	△	●	-	-
生物無機化学入門	2		-	-	-	-	○	○	○	○	-	-
生物圏環境科学概論	2		-	-	-	●	-	-	△	○	-	-

※ 1. ◎：必修科目，○：選択科目，△：自由科目，-：履修不可，●：専門科目として開講

(v) 医療・健康科学系

教養教育科目名	単 位 数	地 域 志 向 科 目	学部・学科名									
			人 文 学 部	人 間 発 達 科 学 部	経 済 学 部	理 学 部	医 学 部 医 学 科	医 学 部 看 護 学 科	薬 学 部	工 学 部	芸 術 文 化 学 部	都 市 デ ザ イ ン 学 部
医療心理学	2		○	○	○	○	△	○	○	○	-	○
概説医療心理学	1		-	○	-	○	◎	○	○	○	-	○
認知科学	2		○	○	○	○	○	○	○	○	-	○
脳科学入門	2		○	○	○	○	○	○	○	○	-	○
生命科学入門	1		-	○	-	○	○	○	○	○	-	○
免疫学入門	2		○	○	○	○	○	○	○	○	-	○
身近な医学	2		○	○	○	○	○	-	○	○	○	○
障害とアクセシビリティ	2		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
医療と地域社会	2	*	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○

※ 1. ◎：必修科目，○：選択科目，△：自由科目，-：履修不可，●：専門科目として開講

(vi) 総合科目系

教養教育科目名	単 位 数	地 域 志 向 科 目	学部・学科名									
			人 文 学 部	人 間 発 達 科 学 部	経 済 学 部	理 学 部	医 学 部 医 学 科	医 学 部 看 護 学 科	薬 学 部	工 学 部	芸 術 文 化 学 部	都 市 デ ザ イ ン 学 部
環境	2	*	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
ジェンダー	2		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
技術と社会	2		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
現代文化	2	*	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
人権と福祉	2	*	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
環日本海	2	*	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
科学と社会	2		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
アカデミック・デザイン	2	*	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
ビジネス思考	2	*	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平和学入門	2		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
東アジア共同体論 －政治・経済・文化－	2		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
新聞投稿に挑戦	2		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
富山から考える震災・復興学	2		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
環境と安全管理	2		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
万葉学	2	*	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
日本海学	2	*	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
富山大学学	2	*	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
とやま地域学	2	*	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
時事的問題	2		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
災害救援ボランティア論	2	*	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
感性をはぐくむ	2		○	○	○	○	○	－	○	○	○	○
日本事情／芸術文化	2		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
日本事情／自然社会	2		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
学士力・人間力基礎	2		○	○	－	○	○	○	○	○	○	○
富山学	2	*	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
地域ライフプラン	2	*	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
産業観光学	2	*	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
富山のものづくり概論	2	*	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
富山の地域づくり	2	*	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

※1. ◎：必修科目，○：選択科目，△：自由科目，－：履修不可，●：専門科目として開講
 ※2. 「日本事情／芸術文化」及び「日本事情／自然社会」は外国人留学生のみ履修可能とする。

(vii) 外国語系

教養教育科目名	単 位 数	地 域 志 向 科 目	学部・学科名									
			人 文 学 部	人 間 発 達 科 学 部	経 済 学 部	理 学 部	医 学 部 医 学 科	医 学 部 看 護 学 科	薬 学 部	工 学 部	芸 術 文 化 学 部	都 市 デ ザ イ ン 学 部
英語リテラシーⅠ-A	1		◎	◎	◎	◎	-	-	-	◎	-	◎
英語リテラシーⅠ-B	1		-	-	-	-	◎	-	-	-	-	-
英語リテラシーⅠ-C	1		-	-	-	-	-	-	○	-	-	-
英語リテラシーⅠ-D	1		-	-	-	-	-	◎	-	-	-	-
英語リテラシーⅠ-E	1		-	-	-	-	-	-	-	-	◎	-
英語リテラシーⅡ-A	1		◎	◎	◎	◎	-	-	-	◎	-	◎
英語リテラシーⅡ-B	1		-	-	-	-	◎	-	-	-	-	-
英語リテラシーⅡ-C	1		-	-	-	-	-	-	○	-	-	-
英語リテラシーⅡ-D	1		-	-	-	-	-	◎	-	-	-	-
英語リテラシーⅡ-E	1		-	-	-	-	-	-	-	-	◎	-
英語コミュニケーションⅠ-A	1		◎	◎	◎	◎	-	-	-	◎	-	◎
英語コミュニケーションⅠ-B	1		-	-	-	-	◎	-	-	-	-	-
英語コミュニケーションⅠ-C	1		-	-	-	-	-	-	○	-	-	-
英語コミュニケーションⅠ-D	1		-	-	-	-	-	◎	-	-	-	-
英語コミュニケーションⅠ-E	1		-	-	-	-	-	-	-	-	◎	-
英語コミュニケーションⅡ-A	1		◎	◎	◎	◎	-	-	-	◎	-	◎
英語コミュニケーションⅡ-B	1		-	-	-	-	◎	-	-	-	-	-
英語コミュニケーションⅡ-C	1		-	-	-	-	-	-	○	-	-	-
英語コミュニケーションⅡ-D	1		-	-	-	-	-	◎	-	-	-	-
英語コミュニケーションⅡ-E	1		-	-	-	-	-	-	-	-	◎	-
ドイツ語基礎Ⅰ	1		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
ドイツ語基礎Ⅱ	1		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
ドイツ語コミュニケーションⅠ	1		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
ドイツ語コミュニケーションⅡ	1		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
フランス語基礎Ⅰ	1		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
フランス語基礎Ⅱ	1		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
フランス語コミュニケーションⅠ	1		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
フランス語コミュニケーションⅡ	1		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
中国語基礎Ⅰ	1		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
中国語基礎Ⅱ	1		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
中国語コミュニケーションⅠ	1		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
中国語コミュニケーションⅡ	1		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

教養教育科目名	単 位 数	地 域 志 向 科 目	学部・学科名										
			人 文 学 部	人 間 発 達 科 学 部	経 済 学 部	理 学 部	医 学 部 医 学 科	医 学 部 看 護 学 科	薬 学 部	工 学 部	芸 術 文 化 学 部	都 市 デ ザ イ ン 学 部	
朝鮮語基礎Ⅰ	1		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
朝鮮語基礎Ⅱ	1		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
朝鮮語コミュニケーションⅠ	1		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
朝鮮語コミュニケーションⅡ	1		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
ロシア語基礎Ⅰ	1		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
ロシア語基礎Ⅱ	1		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
ロシア語コミュニケーションⅠ	1		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
ロシア語コミュニケーションⅡ	1		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
日本語リテラシーⅠ	1		○	○	○	○	○	○	○	◎	○	○	○
日本語リテラシーⅡ	1		○	○	○	○	○	○	○	◎	○	○	○
日本語コミュニケーションⅠ	1		○	○	○	○	○	○	○	◎	○	○	○
日本語コミュニケーションⅡ	1		○	○	○	○	○	○	○	◎	○	○	○
発展多言語演習ドイツ語	1		△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△
発展多言語演習中国語	1		△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△
発展多言語演習ラテン語Ⅰ	1		△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△
発展多言語演習ラテン語Ⅱ	1		△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△
日本語コミュニケーションⅢ	1		△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△
日本語リテラシーⅢ	1		△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△
日本語／専門研究	1		△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△
日本語／ビジネス	1		△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△

- ※1. ◎：必修科目，○：選択科目，△：自由科目，－：履修不可，●：専門科目として開講
 ※2. 日本語科目は外国人留学生のみ履修可能とする。
 ※3. 工学部に所属する外国人留学生は英語4単位必修に代わり，日本語4単位必修とする。

(viii) 保健体育系

教養教育科目名	単 位 数	地 域 志 向 科 目	学部・学科名									
			人 文 学 部	人 間 発 達 科 学 部	経 済 学 部	理 学 部	医 学 部 医 学 科	医 学 部 看 護 学 科	薬 学 部	工 学 部	芸 術 文 化 学 部	都 市 デ ザ イ ン 学 部
健康・スポーツ／講義	1		◎	◎	◎	◎	○	○	○	○	○	○
健康・スポーツ／実技	1		◎	◎	◎	◎	◎	○	◎	○	◎	○

※ 1. ◎：必修科目，○：選択科目，△：自由科目，－：履修不可，●：専門科目として開講

(ix) 情報処理系

教養教育科目名	単 位 数	地 域 志 向 科 目	学部・学科名									
			人 文 学 部	人 間 発 達 科 学 部	経 済 学 部	理 学 部	医 学 部 医 学 科	医 学 部 看 護 学 科	薬 学 部	工 学 部	芸 術 文 化 学 部	都 市 デ ザ イ ン 学 部
情報処理－A	2		◎	◎	◎	◎	－	－	－	◎	－	◎
情報処理－B	2		－	－	－	－	◎	◎	◎	－	－	－
情報処理－C	2		－	－	－	－	－	－	－	－	◎	－
応用情報処理	2		○	○	○	○	△	○	△	○	－	○

※ 1. ◎：必修科目，○：選択科目，△：自由科目，－：履修不可，●：専門科目として開講

9 シラバス

授業科目ごとに、担当教員名や授業計画、成績評価方法、使用する教科書、履修上の注意などを詳しく紹介したものをシラバスと言います。シラバスは富山大学ウェブサイト「富山大学ウェブシラバス」から参照することができます。

自分が履修しようとする教養教育科目のシラバスをよく読み、履修計画を立ててください。

◆ 富山大学ウェブシラバス

<http://syllabus.adm.u-toyama.ac.jp/syllabus/>



10 ヘルン・システム（富山大学 学務情報システム）

ヘルン・システムとは、富山大学の学生、教職員が利用できるウェブシステムです。

ヘルン・システムでは、履修登録や成績照会を行うだけでなく、休講・補講情報や、就職関連情報など教養教育に限らず、様々な情報を管理・発信しています。

入学時に配布する「ヘルン・システム利用の手引き」に各種作業マニュアルを掲載していますので、内容をよく読んで利用してください。

◆ ヘルン・システム

https://www.u-toyama.ac.jp/student-staff/hearn_system.html



11 その他

(1) 教員免許取得に必要な教養教育科目

教員免許取得を希望する学生は、所属する学部を問わず、以下の教養教育科目の単位を修得する必要があります。

教員免許取得に必要な教養教育科目一覧

系	教養教育科目名
社会科学系	日本国憲法
外国語系	英語コミュニケーション I, II ドイツ語コミュニケーション I, II フランス語コミュニケーション I, II 中国語コミュニケーション I, II 朝鮮語コミュニケーション I, II ロシア語コミュニケーション I, II 日本語コミュニケーション I, II } から2単位
保健体育系	健康スポーツ / 実技 健康スポーツ / 講義
情報処理系	情報処理

Ⅲ 履修登録

1 履修計画

大学では、学生自身が履修する授業科目を選択し、履修計画を立てることになります。
必修科目等一部の科目を除き、自由に授業科目が選べる一方、自己責任・自己管理が一層重要となります。

○ 履修計画を立てるためのポイント

- ① 自身が所属する学部のディプロマ・ポリシーを必ず確認してください。
- ② 必修科目は必ず履修してください。
- ③ 自身が所属する学部・学科の卒業要件単位を把握し、履修する選択科目を決めてください。
- ④ 授業科目名だけで判断せず、シラバスをよく読み、授業内容等を十分理解した上で、履修する選択科目を決めてください。
- ⑤ 教職免許取得を希望する場合は、P. 28「Ⅱ-11(1)教員免許取得に必要な教養教育科目」を必ず履修してください。
- ⑥ 教養教育での履修は1年次で修了することが原則です。2年次以降は専門科目の授業が中心となります。その際、教養教育科目の修得単位が不足していると履修科目数が増え、自身にとって大きな負担となります。
- ⑦ 学部・学科によっては、教養教育科目の修得単位数を進級要件としています。
自身が所属する学部・学科の進級要件を確認し、教養教育科目の修得単位数が不足しないように注意してください。

2 年次・学期ごとの履修上限単位数（CAP制）

履修できる科目の合計単位数には、年次・学期ごとに上限を設けています。これは、履修できる授業科目数を制限することで、適切な学修時間を確保し、学修内容を深く身に付けることを目的としています。

3 履修登録及び事前登録について

授業科目を履修するためには、学生自身がヘルン・システムを利用して、学期ごとに定められた教養教育事前履修登録期間内に履修登録を行う必要があります。教養教育事前履修登録期間外に履修登録はできませんので、登録忘れや登録間違いがないよう注意してください。ヘルン・システムを利用した事前履修登録方法は、「ヘルン・システム利用の手引き」に掲載していますので、参照してください。

平成30年度教養教育事前履修登録期間

学 期	教養教育事前履修登録期間
前学期	4月4日午前11時30分～8日正午まで
後学期	9月25日午前8時30分～28日終日

4 必修科目履修登録

(1) 必修科目（クラス指定科目）の履修登録

必修科目のうち、クラス指定科目（英語リテラシー、英語コミュニケーション及び情報処理）は教養教育事前履修登録期間前にあらかじめ履修登録を済ませていますので、履修登録画面から確認してください。

○ 英語科目の履修について

英語科目については、クラス指定科目であるため、教養教育事前履修登録期間前にあらかじめ履修登録を済ませています。ただし、自身の英語力が英語科目の習熟度レベルを超えている外国人留学生等や英語圏出身者、日本の高校レベルの英語教育を受けていない外国人留学生などは、教養教育事前履修登録期間中のなるべく早い時期に学務課教養教育支援室に相談してください。

(2) 「健康・スポーツ／実技」の履修登録

「健康・スポーツ／実技」はクラス指定科目であるため、教養教育事前履修登録期間前にあらかじめ履修登録を済ませています。「健康・スポーツ／実技」第1週の授業時間に、下表の種目の中から開講される種目のうち、履修する種目を1種目選択します。

健康・スポーツ／実技 種目一覧

コース	種目名
スポーツコース	テニス, バドミントン, バレーボール, 卓球, サッカー, ゴルフ, ソフトボール, バasketボール
フィットネスコース	フィットネス

各学部における第1週の集合場所は下表のとおりです。第1週目の授業では更衣をする必要はありません。第1週の授業に出席しなかった場合、希望する種目を選択できないことがありますので、注意してください。

健康・スポーツ／実技 第1週集合場所

学部名	集合場所
人文学部, 人間発達科学部, 経済学部 理学部, 工学部, 都市デザイン学部	五福キャンパス第1体育館
医学部, 薬学部	杉谷キャンパスアリーナ
芸術文化学部	高岡キャンパス (集合場所は別途掲示により指定します。)

なお、医学部看護学科、工学部及び都市デザイン学部の学生は「健康・スポーツ／実技」は選択科目となります。「健康・スポーツ／実技」の履修を希望しない学生は、授業開始までに必ず学務課教養教育支援室に申し出てください。

医学部看護学科, 工学部及び都市デザイン学部 保健体育系 卒業要件単位

学部名	保健体育系 卒業要件単位
医学部看護学科	「健康・スポーツ／実技」及び「健康・スポーツ／講義」から1単位以上修得
工学部	「健康・スポーツ／実技」及び「健康・スポーツ／講義」から1単位以上修得
都市デザイン学部	「健康・スポーツ／実技」及び「健康・スポーツ／講義」から1単位以上修得

履修する種目が決定した後の履修登録は、学務課教養教育支援室の事務担当が行います。履修登録完了後、共通教育棟A棟1階掲示板及びヘルン・システムで通知しますので、改めて履修登録内容を確認してください。

また、様々な理由により、集団での運動・スポーツ活動が困難な学生を対象として、通常の学生が履修する「健康・スポーツ／実技」とは別に、「特別体育」を開講します。「特別体育」は、原則として個別指導としており、授業内容、開講時間等を授業担当教員と相談の上、履修の可否を決定します。「特別体育」の履修を希望する学生は、第1週の授業時間中に授業担当教員に申し出るか、学務課教養教育支援室に申し出てください。

(3) その他の必修科目の履修登録

上記以外の必修科目は、ヘルン・システム内の「履修登録・登録状況照会」画面から履修登録を行います。履修登録間違いや履修登録忘れがないよう十分注意してください。

5 選択必修科目履修登録（医学部医学科及び薬学部のみ対象）

下表の選択必修科目については、選択方法に従い、必ずいずれか一科目を選択し、単位を修得する必要があります。履修登録方法は、共通教育棟A棟1階掲示板及びヘルン・システム又は授業中に指示します。

選択必修科目一覧

教養教育科目名	選択方法
解析学－A	「解析学－A」と「解析学－B」からいずれか一つを選択
解析学－B	
物理学Ⅰ－A	「物理学Ⅰ－A」と「物理学Ⅰ－B」からいずれか一つを選択
物理学Ⅰ－B	
物理学Ⅱ－A	「物理学Ⅱ－A」と「物理学Ⅱ－B」からいずれか一つを選択
物理学Ⅱ－B	

6 選択科目事前登録

必修科目を履修しない曜日・時限は、ヘルン・システム内の「事前登録」画面から選択科目の事前登録を行います。

○ 選択科目事前登録方法

- ① 選択科目の事前登録は、「事前登録」画面に表示されるカテゴリ「教養教育院」から「曜日・時限グループ」ごとに行います。
- ② 「曜日・時限グループ」ごとに、開講する教養教育科目が表示されますので、その中から履修を希望する教養教育科目を第1希望～第5希望まで選択し、登録してください。

○ 選択科目事前登録における留意事項

- ① 同じ名称の教養教育科目は、担当教員名が違っていても重複登録することはできません。複数の曜日・時限で開講する同じ名称の科目をそれぞれ事前登録することは可能ですが、実際に履修できるのはいずれか1科目となります。
- ② 教養教育科目ごとに定員を定めています。教養教育事前履修登録期間終了後、定員を上回る履修希望者がいる教養教育科目は、抽選を行い履修者を決定します。抽選の結果、履修が認められなかった学生は、下位希望の教養教育科目を履修することになります。
- ③ 全ての「曜日・時限グループ」で事前登録を終えたら、「事前登録照会」画面で登録内容を確認し、登録忘れや登録間違いがないことを必ず確認してください。
- ④ 教養教育事前登録期間内であれば、何度でも登録変更は可能です。

○ 選択科目事前登録におけるエラー

選択科目事前登録時に、登録内容にエラーがある場合はエラーメッセージが表示されます。登録内容にエラーがあるままで登録を終えると、抽選処理の際、自身に不利益が生じる場合がありますので、必ず登録内容にエラーがないように登録してください。

エラーメッセージのとおり対応しても登録ができない場合は、学務課教養教育支援室まで連絡してください。

事前登録エラーメッセージ例と対応方法

事前登録エラーメッセージの例	対応方法
学期に履修可能な単位数を超えています。	事前登録の取消しを行い、学期に履修可能な単位数を超えないようにしてください。
修得済の単位 / 授業科目数が排他単位 / 授業科目数の制限を超えています。	履修できない科目が事前登録に含まれています。該当する科目の事前登録取消しを行い、履修可能な科目を事前登録してください。
カリキュラム制限科目です。	履修できない科目が事前登録に含まれています。該当する科目の事前登録取消しを行い、履修可能な科目を事前登録してください。

7 英語以外の外国語事前登録

(1) 英語以外の外国語について

一部の学部・学科を除き、英語以外の外国語（以下、初修外国語という）について、選択科目としてドイツ語、フランス語、中国語、朝鮮語、ロシア語、日本語の中から1言語を選択し、単位を修得する必要があります。ただし、日本語を選択できるのは外国人留学生に限ります。

学部・学科によって初修外国語の卒業要件単位数が異なりますので、自身の学部・学科が設定している卒業要件単位数を満たすように履修してください。

各言語とも、基礎科目及びコミュニケーション科目を開設しますが、卒業要件単位数によって、修得しなければならない科目の組合せを設定しています。

また、一部言語においては、履修できるクラスが指定されていますので、特に注意してください。

各学部・学科における外国語卒業要件単位数

学部・学科	外国語（英語）必修科目 卒業要件単位数	外国語（初修外国語）選択科目 卒業要件単位数
人文学部	4単位	4単位
人間発達科学部	4単位	2単位
経済学部	4単位	4単位
理学部	4単位	2単位
医学部医学科	4単位	2単位
医学部看護学科	4単位	—
薬学部	次の組み合わせから各1単位以上修得し、初修外国語を含め計6単位修得 ①「英語リテラシーⅠ－C」と「英語リテラシーⅡ－C」 ②「英語コミュニケーションⅠ－C」と「英語コミュニケーションⅡ－C」	
工学部	4単位 ※外国人留学生は英語に代わり、日本語を必修とする。	—
芸術文化学部	4単位	2単位
都市デザイン学部	4単位	—

○ 初修外国語履修方法について

① 選択科目卒業要件単位数が4単位の場合

学修する言語を1つ選び、それぞれの言語について、「基礎Ⅰ」、「基礎Ⅱ」、「コミュニケーションⅠ」及び「コミュニケーションⅡ」を履修してください。

② 選択科目卒業要件単位数が2単位の場合

前学期の開講科目を履修せず、後学期の「基礎Ⅱ」,「コミュニケーションⅡ」から履修するような履修計画は避けてください。前学期・後学期で段階的に学んでいくことが基本となります（既修得単位の認定や高校などで学修経験のある学生でⅡからの受講を希望する場合は、授業担当教員に早めに相談してください）。

前学期・後学期の科目の組み合わせ方については、以下の表に言語ごとに履修方法が提示されています。内容をよく読み、履修計画を立ててください。

指定の2単位を超えた場合は、一部の学部・学科を除き、選択科目として卒業要件単位に含めることができます（P. 10 Ⅱ-8（1）「各学部・学科における卒業要件単位一覧」を参照）。

また、卒業要件単位に含まれていない場合にも自由単位として履修することが可能です。

③ 卒業要件での指定がない場合

卒業要件の指定がない場合にも、選択科目として卒業要件単位に含めることができます（P. 10 Ⅱ-8（1）「各学部・学科における卒業要件単位一覧」を参照）。

また、卒業要件外でも自由単位としての履修は可能です。英語以外の外国語に興味のある学生は是非履修してください。

各言語における履修単位別履修方法

外国語名	履修単位数	履修方法
ドイツ語	4単位履修	前学期 ドイツ語基礎Ⅰ及びドイツ語コミュニケーションⅠ 後学期 ドイツ語基礎Ⅱ及びドイツ語コミュニケーションⅡ を履修
	2単位履修	ドイツ語基礎Ⅰ・Ⅱ及びドイツ語コミュニケーションⅠ・Ⅱからいずれか2科目2単位を履修 ○ドイツ語2単位履修者の履修モデル (1) ドイツ語入門モデル ドイツ語基礎Ⅰ及びドイツ語コミュニケーションⅠを学ぶことで、未知の言語であるドイツ語をとりあえず知りたいという学生に週2回授業でより記憶に残る学修ができます。 手応えを感じた学生は、後学期で、更にドイツ語基礎Ⅱ及びドイツ語コミュニケーションⅡを学ぶことができます。 (2) ドイツ語基礎モデル ドイツ語基礎Ⅰ,Ⅱを学ぶことで、一通りの語学知識を修得します。 将来、ドイツ語に接したときに辞書やネット検索等の補足ツールを使いながら、自分で学んで行けるような総合的な基礎力を身に付けることができます。 ドイツ語コミュニケーションⅠ,Ⅱを履修しないで受講する場合には、曖昧な点が出ないように、自己学修にも気をつけ、積極的に教員に分からない点を質問しましょう。 (3) プラスアルファ型モデル (1)(2)を履修の核にしながら、更にドイツ語コミュニケーションⅠ,Ⅱ,ドイツ語基礎Ⅱを受講します。 (1),(2)の履修モデルより実践的な学修ができます。 また、並行学修、追加学修をすることで、知識の定着はより容易になります。興味・関心がある場合、1年次の学修計画全体を見据えながら、積極的に履修してください。

外国語名	履修 単位数	履修方法
フランス語	4 単位 履修	前学期 フランス語基礎Ⅰ及びフランス語コミュニケーションⅠ 後学期 フランス語基礎Ⅱ及びフランス語コミュニケーションⅡ を履修
	2 単位 履修	前学期 フランス語基礎Ⅰ及びフランス語コミュニケーションⅠ の2科目2単位を履修 発展的にフランス語を学びたい場合や将来的にフランス語圏への研修 参加や留学を考えている場合は、後期に開講されるフランス語基礎Ⅱ及 びフランス語コミュニケーションⅡの履修を強くお勧めします。
	その他	自由科目としてフランス語を履修する場合は、上記2単位履修の場合 と同じ履修プランを強くお勧めします。 高校などでフランス語の学修経験がある学生は、資格試験等による単 位認定制度があります。 教員免許取得に必要な教養教育科目としてフランス語を履修する場 合は、前学期フランス語基礎Ⅰ及びフランス語コミュニケーションⅠを履 修した上で、後学期フランス語コミュニケーションⅡを履修してくださ い。この場合も、後学期フランス語基礎Ⅱを併せて履修することを強く お勧めします。 フランス語については、2年次以降の発展多言語演習ドイツ語・中国 語に相当するものは開講されません。人文学部専門科目で履修できる科 目（基礎フランス語、実践フランス語演習Ⅰ、フランス語演習Ⅰ等）が あるので、これらの科目の履修を検討してください。人文学部生は学部 の専門科目、他学部生は他学部履修となります。

外国語名	履修 単位数	履修方法
中国語	4 単位 履修	前学期 中国語基礎Ⅰ及び中国語コミュニケーションⅠ 後学期 中国語基礎Ⅱ及び中国語コミュニケーションⅡ を履修
	2 単位 履修	中国語基礎Ⅰ及び中国語基礎Ⅱ の2科目2単位を履修することを強くお勧めします。 (ただし、中国語コミュニケーションⅠ、Ⅱも併せて履修することが できます。)

外国語名	履修 単位数	履修方法
朝鮮語	4 単位 履修	前学期 朝鮮語基礎Ⅰ及び朝鮮語コミュニケーションⅠ 後学期 朝鮮語基礎Ⅱ及び朝鮮語コミュニケーションⅡ を履修
	2 単位 履修	(1) 前学期2科目2単位を履修する場合 前学期 朝鮮語基礎Ⅰ及び朝鮮語コミュニケーションⅠ を履修 (2) 前学期1科目1単位、後学期1科目1単位を履修する場合 前学期 朝鮮語基礎Ⅰ又は朝鮮語コミュニケーションⅠ のいずれか1科目1単位を履修 後学期 朝鮮語基礎Ⅱ又は朝鮮語コミュニケーションⅡ のいずれか1科目1単位を履修
	その他	高校などで朝鮮語の学修経験がある学生は、教養教育事前履修登録期 間内に朝鮮語担当教員に申し出ること。面談して語学力を確認の上、履 修クラスを決定します。 朝鮮語については、2年次以降の発展多言語演習ドイツ語・中国語に相 当するものは開講されません。人文学部専門科目で履修できる科目があ るので、朝鮮語担当教員から案内します。人文学部生は学部の専門科目、 他学部生は他学部履修となります。

外国語名	履修 単位数	履修方法
ロシア語	4単位 履修	前学期 ロシア語基礎Ⅰ及びロシア語コミュニケーションⅠ 後学期 ロシア語基礎Ⅱ及びロシア語コミュニケーションⅡ を履修
	2単位 履修	前学期 ロシア語基礎Ⅰ及びロシア語コミュニケーションⅠ の2科目2単位を履修 (ただし、これ以外の組合せも排除するものではありません。) 更に発展的にロシア語を学びたい場合は、後期に開講されるロシア語 基礎Ⅱ及びロシア語コミュニケーションⅡの履修をお勧めします。
	その他	自由科目としてロシア語を履修する場合は、上記2単位履修の場合と 同じ履修プランをお勧めします。 ロシア語については、2年次以降の発展多言語演習ドイツ語・中国語 に相当するものは開講されません。人文学部専門科目で履修できる科目 (基礎ロシア語、実践ロシア語演習Ⅰ、ロシア語学概論等)があるので、 これらの科目の履修を検討してください。人文学部生は学部の専門科目、 他学部生は他学部履修となります。

外国語名	履修 単位数	履修方法
日本語	4単位 履修	前学期 日本語リテラシーⅠ及び日本語コミュニケーションⅠ 後学期 日本語リテラシーⅡ及び日本語コミュニケーションⅡ を履修
	2単位 履修	前学期 日本語リテラシーⅠ及び日本語コミュニケーションⅠの 2科目2単位を履修

○ 初修外国語事前登録方法

- ① 初修外国語事前登録は、「事前登録」画面に表示されるカテゴリ「教養教育院」の「初修外国語グループ」から行います。
- ② 「初修外国語グループ」に表示される初修外国語の中から、履修を希望する初修外国語を第1希望～第5希望まで選択し、登録してください。

○ 初修外国語事前登録における留意事項

- ① 言語ごとに定員を定めています。定員を上回る履修希望者がいる言語は、抽選を行い、履修者を決定します。抽選の結果、履修が認められなかった学生は、下位希望の言語を履修することになります。
- ② 事前登録を終えたら、「事前登録照会」画面で登録内容を確認し、登録忘れや登録間違いがないことを必ず確認してください。
- ③ 教養教育事前登録期間内であれば、何度でも登録変更は可能です。

(2) 発展多言語演習について

いくつかの初修外国語には、更なる応用力の育成を目指す発展多言語演習を開設しています。これらの科目は、全学部共通で、卒業要件とはしない自由科目です。

履修のために条件を設定している科目もあります。

また、発展多言語演習のみの言語として、「発展多言語演習ラテン語」を履修することができます。「発展多言語演習ラテン語」の授業内容は、他の発展多言語演習とは違い、初級の内容となっています。

発展多言語演習科目一覧

科目名	履修条件
発展多言語演習ドイツ語	ドイツ語基礎Ⅰ、Ⅱ及び ドイツ語コミュニケーションⅠ、Ⅱ から計3単位以上修得していること
発展多言語演習中国語	中国語基礎Ⅰ、Ⅱの単位を修得していること 中国語コミュニケーションⅠ、Ⅱを履修していること が望ましい
発展多言語演習ラテン語Ⅰ	履修条件なし
発展多言語演習ラテン語Ⅱ	
日本語リテラシーⅢ	履修条件なし ※外国人留学生対象科目
日本語コミュニケーションⅢ	
日本語／専門研究	
日本語／ビジネス	

なお、発展多言語演習の開講時期については、言語により通常の授業期間中には開講されない（夏季、冬季休業期間、土日開講）場合があります。履修を希望する学生は、履修登録の際、開講時期を必ず確認してください。

8 選択科目の抽選

選択科目には、科目ごとに定員を設定しています。教養教育事前登録期間終了後に科目ごとに履修希望者数を集計し、定員を超える科目は抽選処理を行います。第1希望～第5希望のいずれかの科目に当選した場合は、自動的に履修登録が行われます。

当選しなかった場合は、教養教育科目履修確定科目通知日・調整日の期間中に再登録（先着順）します。抽選について不明な場合は、学務課教養教育支援室まで相談してください。

9 集中講義履修登録

集中講義は主として休業期間中（夏季、冬季休業期間、土日）に開講します。集中講義の履修登録登録方法及び開講時期については、授業実施期間中に共通教育棟A棟1階掲示板及びヘルン・システムで通知します。

10 外国人留学生の履修登録について

(1) 外国人留学生を対象とした教養教育科目について

教養教育科目では、外国人留学生のための教養教育科目として、以下の科目を開設しています。外国人留学生以外の学生は履修することはできません。

外国人留学生を対象とした教養教育科目一覧

系	教養教育科目名
人文科学系	異文化理解
総合科目系	日本事情／芸術文化、日本事情／自然社会
外国語系	日本語リテラシーⅠ、日本語リテラシーⅡ 日本語コミュニケーションⅠ、日本語コミュニケーションⅡ、 日本語リテラシーⅢ、日本語コミュニケーションⅢ、 日本語／専門研究、日本語／ビジネス

(2) 外国語履修登録

外国人留学生の外国語履修登録は、英語の他、初修外国語としてドイツ語、中国語、フランス語、ロシア語、朝鮮語、日本語から言語を選択します。ただし、母語を選択することはできません（大学が母語を指定することがあります）。例えば、中国語圏出身者は、中国語を除く5言語から初修外国語を選択することになります。また、日本語を母語とする学生は、たとえ外国人留学生であっても日本語を選択することはできません。

なお、工学部に所属する外国人留学生は、日本語リテラシーⅠ、Ⅱ及び日本語コミュニケーションⅠ、Ⅱを必修科目として指定しています。

11 履修登録科目の確認・修正

(1) 履修登録科目の確認

履修登録結果については、必ずヘルプ・システム内の履修登録照会画面から確認してください。事前登録を行ったにもかかわらず空欄となっている場合は、第1希望～第5希望までのいずれの科目にも履修登録ができなかったこととなります。

(2) 履修科目追加登録及び修正登録

(i) 履修科目追加登録

選択科目の抽選の結果、第1希望～第5希望のいずれにも履修登録ができなかった場合や選択科目事前登録を行わなかった場合、履修登録者数が履修上限数に達していない科目への追加履修登録が行えます。追加履修登録方法については、新入生オリエンテーションにおいて通知します。

また、履修登録された科目については、履修取消のみ行えることとし、原則として別の教養教育科目への修正登録は認めません。ただし、選択科目の抽選の結果、履修登録科目が特定の系に偏った等の特別な事情がある場合にのみ、履修科目の修正登録を認めることがあります。履修登録科目の修正を希望する学生は、必ず教養教育科目履修確定科目通知日・調整日の期間中に学務課教養教育支援室まで申し出てください。

なお、履修科目の追加履修登録は、教養教育科目履修確定科目通知日・調整日の期間中に限り行えることとし、授業開始後には追加履修登録は行えません。

平成30年度教養教育科目履修確定科目通知日・調整日

学 期	期 間
前学期	4月9日～10日
後学期	10月1日～2日

(ii) 履修科目取消

授業開始後、履修取消期間内に限り、履修科目を取消することができます。ただし、別の教養教育科目への修正登録はできません。

平成30年度教養教育科目履修取消期間

学 期	期 間
前学期	4月11日～5月1日
後学期	10月3日～23日

Ⅳ 履修上の注意

1 教室

教養教育科目の授業は、主に五福キャンパス共通教育棟（以下、「共通教育棟」という）で行いますが、一部の教養教育科目や情報処理、健康・スポーツ/実技等は、各学部や総合情報基盤センター、体育館等で行います。

また、「教養教育授業時間割表」には各授業の実施教室を掲載していますが、教室を変更することがあります。教室変更については共通教育棟A棟1階掲示板及びヘルン・システムで確認することができますので、授業開始前に必ず確認してください。

2 出欠管理システム

教養教育科目の一部の授業では出欠管理システムを導入しています。履修者は、授業開始前に教室設置型カードリーダー又は携帯型カードリーダーに学生証を読み取らせ、出席処理を行ってください。学生証の紛失等により出席処理が行えない場合は、必ず授業担当教員に申し出てください。

なお、授業担当教員によっては、出欠管理システムによらず、名簿による読上げやレポート等の提出によって出欠を確認することがあります。

また、他人の学生証を利用して出席処理を行う等の行為により、あたかもその学生が出席したかのように装うことは、不正行為とみなし、懲戒処分の対象になりますので注意してください。他人に頼まれても絶対に断ってください。

3 欠席の取扱い

(1) 欠席の取扱いについて

病気・忌引等によりやむを得ず授業を欠席することになった場合は、必ず自身が所属する学部の教務担当窓口へ連絡し、次回授業時に授業担当教員に申し出てください。

(2) シャトルバス遅延等に係る取扱いについて

本学が運行するシャトルバスを利用する学生について、万一、シャトルバスに乗り切れなかった場合やシャトルバス運行に遅延が生じたことにより授業に遅刻又は欠席する場合は、各キャンパス担当窓口又はシャトルバス運転手より「シャトルバス乗車不可・遅延証明書」の発行を受けてください。

4 授業に関する諸連絡（休講・補講・試験等）

休講・補講・試験等の通知は各学部及び共通教育棟A棟1階掲示板、ヘルン・システムにて行います。メールや電話等による学生への個別連絡は行いません。

掲示板には、休講等の通知だけでなく、授業に関する様々な通知、TOEIC等の試験案内、海外留学説明会開催案内等も掲示されます。各学部及び共通教育棟A棟1階掲示板、ヘルン・システムは毎日確認してください。これらを確認しないことによる不利益は、一切保証しません。

5 レポートの提出

(1) レポート課題について

教養教育の授業では、授業期間中又は期末試験としてレポートを課すことがあります。レポート作成に当たっては、授業担当教員の指示する課題内容を十分理解し、作成してください。

○ レポート作成時の主な注意点

- ① レポートの表紙に教養教育授業科目名、授業担当教員名、所属学部学科名、学籍番号、氏名を明記すること。

- ② 他人の著作物を引用する際は、引用箇所を明確にすること（「」で囲む等）。
- ③ 引用する文章は改編しないこと。
- ④ 引用した文献等の出典を明記すること（インターネットからの引用の場合は、URL、表題及びページ取得日）。

他人が書いた文章を無断で引用したり、自分の意見であるかのように書くことを「剽窃行為」といいます。他の学生が作成したレポートを丸写しする行為も同様です。こうした行為により作成されたレポートが提出された場合、不正行為とみなし、懲戒処分の対象になりますので、絶対に行わないでください。

(2) レポート提出について

教養教育の授業に関するレポートの提出先は、原則として共通教育棟A棟1階に設置しているレポートボックスとなります。各学部設置されているレポートボックスは専門科目用レポートボックスとなりますので注意してください。また、授業担当教員によっては、メールでの提出、授業中にレポートを提出する等、レポートボックスへの提出以外の提出方法を指示することがあります。

複数の教員により授業が行われる場合、教員ごとにレポートボックスが設置されることがあります。また、学期末には多くの授業でレポートが課されるため、同時期にレポートボックスを多数設置します。レポートボックスには、それぞれの授業科目名、授業担当教員名、開講曜日・時限、提出期限を表示していますので、レポートボックスを間違えないよう注意し、提出期限を守ってレポートを提出してください。

○ レポート提出時の注意点

- ① レポート提出期限までに提出すること。
- ② レポートボックスに表示された科目名、授業担当教員名等と提出するレポートが一致していることを確認してから提出すること。
- ③ レポートが複数枚に及ぶ場合は、ホッチキスで留めて提出すること。

提出期限を過ぎたレポートは受け付けません。また、誤ったレポートボックスに提出されたレポートは評価対象とならないことがあります。レポートボックスを間違えて提出した場合は、速やかに学務課教養教育支援室に申し出てください。

6 「健康・スポーツ／実技」履修上の注意

(1) 服装について

「健康・スポーツ／実技」における服装は、運動に適したものを着用してください。また、体育館で実施する種目では内履き専用の運動靴が、テニスではテニスシューズが必要となります。

(2) 「学生教育研究災害傷害保険」の加入について

本学では、正課中（授業中）に、身体に被ったケガに対して補償対象となる「学生教育研究災害傷害保険」に全員加入しています。万が一、正課中（授業中）にケガを負った場合は、速やかに授業担当教員に報告し、必要に応じて医療機関等で診療行為を受けてください。

補償対象となる「正課中のケガ」とは、授業担当教員の指示に基づき授業を受けている間（準備もしくは後始末を行っている間も含む）に生じた「急激」かつ「偶然」な「外来」からの事故により身体に被ったケガを指し、通院・入院日数に応じた保険金が支払われます。

○「急激」かつ「偶然」な「外来」からの事故とは

「急激」とは、事故が突発的に発生し、被保険者にとって予測・回避できないことを意味します。「偶然」とは、事故の原因または結果の発生が、被保険者にとって予知できないこと、被保険者の意思に基づかないことを意味します。

「外来」とは、原因の発生が、被保険者の身体に内在するものではなく、外部からの作用によることをいいます。

ただし、どんな場合でも補償対象となるものではありません。必ず、学生会館1階学生支援課の学生保険担当窓口にご相談・報告してください。

(3) 定期健康診断の受診について

「健康・スポーツ／実技」を履修する学生は全員、本学が実施する定期健康診断を受診しなければなりません。定期健康診断を受診していない学生は、「健康・スポーツ／実技」の履修を認めません。

V 単位認定

1 試験

成績評価は、シラバスに記載された成績評価方法に基づき行います。成績評価方法には、学期末に実施する試験や授業期間中に実施する小テスト、課題レポートなど、科目により様々な方法があります。

試験実施等については、各学部及び共通教育棟A棟1階掲示板、ヘルン・システムにて通知するほか、授業担当教員によっては授業中に試験実施等の通知を行うことがあります。また、試験実施日や試験実施教室は、通常授業・教室から変更することがありますので注意してください。

○ 受験時の注意事項

- ① 試験は履修登録が認められた科目のみ受けることができる。
- ② 受験の際は、必ず学生証を机上に提示すること。学生証を紛失している場合は、試験日までに再発行の手続きを取ること。試験日までに学生証の再発行が間に合わない場合は、授業担当教員に事前に相談し、指示に従うこと。
- ③ 授業担当教員より座席が指定されている場合は、指定された座席において受験すること。
- ④ 携帯電話やスマートフォン等、音の出る機器は必ず電源を切り、カバン等に入れること。携帯電話等を時計代わりに使用することはできない。
- ⑤ 受験中、机上に置くことができるのは、学生証、筆記用具及び特に指定されたものに限る。それ以外のものについてはカバン等に入れて足元に置き、机の棚入れは何も入っていない状態にすること。
- ⑥ 解答用紙には学籍番号、氏名等必要事項を必ず記載すること。
- ⑦ 受験中は、不正行為はもちろんのこと、不正を疑われるような行為・態度は慎み、厳正な態度で臨むこと。
- ⑧ その他、試験中は授業担当教員の指示に従うこと。

2 不正行為

試験等における不正行為は、学生としてあるまじき行為であり、絶対に許されるものではありません。本学では、不正行為に対して厳正に対処し、不正行為が認定された場合は、35日間を規準とする停学に加え、当該科目のみならず、当該試験期間中に受験した全ての試験科目を無効とし、卒業が半年以上延期となります。

○ 試験実施について不正行為とみなされる行為例

- ① 試験中に、使用が許可されていないノートや電子辞書、スマートフォン等を参照又は使用すること。
- ② 身体や筆記用具等に書込みをして試験に臨むこと。
- ③ 試験中に、他の学生の答案をのぞき見ること。
- ④ 答案を交換すること。
- ⑤ 代理で試験を受けること、又は受けさせること。
- ⑥ 授業担当教員の指示に従わない等、試験の公正な実施を妨げること。

○ レポート課題において不正行為とみなされる行為例

- ① 他人が書いた文章やインターネット上に公開している文章を無断で引用したり、自分の意見であるかのように書くこと（剽窃行為）。
- ② 他人のレポートを代筆すること。
- ③ 自身のレポートを他の学生に見せること。

これらはあくまで一例です。これらの行為以外でも、行為によっては不正行為と見なされることがありますので、不正を疑われるような行為は決して行わないでください。

3 追試験

教養教育科目については、真にやむを得ない欠席理由によって試験が受けられなかった場合、追試験許可願及び欠席理由を証明する書類を提出することにより、1授業科目につき1回に限り追試験を許可することがあります。

追試験を願い出る場合は、当該科目の試験実施日以前又は試験実施の翌日から原則として5日以内（土、日及び祝日を除く。）に「追試験許可願」及び欠席理由を証明する書類等を学務課教養教育支援室に提出してください。

欠席理由及び欠席理由を証明する書類等

欠席理由	欠席理由を証明する書類等
本人の傷病	医師の診断書
親族（三親等以内）の死亡	会葬礼状又は死亡診断書
就職活動 （ただし、採用面接（試験）の受験、採用面接（試験）の受験資格となる説明会への出席に限る。）	企業、官公庁等が発行する証明書又は通知文（就職活動の採用面接（試験）又は採用面接（試験）の受験資格となる説明会の場所、日時及び内容が明記されていること。）
交通機関の遅延	交通機関の遅延証明書
災害（台風、水害、火災、地震等）	罹災証明書等災害の状況が把握できる書類
実習 （ただし、教育実習、介護等体験、臨床実習、臨地実習、臨床実務実習、博物館実習及びインターンシップに限る。）	実習期間が明記されている協定書等の書類
課外活動等における地区大会等を経た全国大会レベル以上の大会出場（ただし、選手または団員として、競技や実演に出場する場合に限る。）	次に掲げる書類 （1）招聘機関等発行の証明書又は派遣依頼書 （2）当該大会等の内容が分かる書類
裁判員制度に基づく要請	裁判所からの要請等を証明する書類
交通事故	警察が発行した事故証明
その他公的機関からの要請	公的機関からの要請等を証明する書類等

4 成績評価の確認

(1) 成績評価の確認

成績開示日以降、ヘルン・システム内の「履修成績照会」画面より成績評価を確認することができます。学生に対して個別に成績通知は行いませんので、必ず自身で確認し、成績評価及び単位修得状況を確認してください。

平成30年度成績開示日

学 期	成績開示日
前学期	9月3日
後学期	2月19日（最高学年） 3月11日（最高学年以外）

(2) 成績評価に対する異議申立て

成績発表後、自身の成績評価について、以下に該当する場合は、教養教育院長に対し、異議を申し立てることができます。ただし、成績評価の理由や根拠に関する申し立ては認めません。

(i) 成績評価の誤記入等、明らかに授業科目担当教員の誤りであると思われるもの。

(ii) シラバス等により学生に周知している達成目標及び成績評価の方法に照らして、明らかに誤りがあると思われるもの。

成績評価異議申立ての方法及び受付期間については、各学期に各学部及び共通教育棟A棟1階掲示板、ヘルン・システムで通知します。

5 不可となった科目の取扱い

(1) 再履修

成績評価が「不可」となった教養教育科目は、次学期以降に再履修することができます。再履修の履修登録方法は、他の教養教育科目と同様、教養科目事前履修登録期間中に事前登録にて行います。ただし、外国語科目等の一部科目については、再履修方法が指定されています。

再履修方法が指定されている教養教育科目

教養教育科目名	再履修方法
健康スポーツ／実技	後学期 健康スポーツ／実技（再履修クラス） 又は 次年度の前学期 健康スポーツ／実技 を履修すること。
情報処理－A	後学期 情報処理－A（再履修クラス） 又は 次年度の前学期 情報処理－A を履修すること。
朝鮮語	事前履修登録期間内に朝鮮語担当教員に申し出ること。 面談により学修到達度を確認の上、履修クラスを決定する。

その他の教養教育科目について再履修方法に指定がある場合は、各学部及び共通教育棟A棟1階掲示板、ヘルン・システムにて別途通知します。

(2) 再試験

所属学部が必修としている教養教育科目（ただし、講義科目に限る）について、成績評価が「不可」とされ、再履修ができない特段の事情があると認められた場合に限り、再試験を行うことがあります。再試験を願い出る場合は、「再試験許可願」に再試験が必要となる理由書を添付して、所属する学部の教務担当窓口へ提出してください。

提出された「再試験許可願」等により再試験の実施の可否について決定します。

再試験の実施が認められた場合、所属する学部を通じて通知します。また、その場合の再試験実施日は、原則として次学期又は次年度の試験期日となります。

なお、再試験による成績評価は、「可」又は「不可」のみとします。

6 既修得単位等の認定

(1) 入学前の既修得単位の認定

学生が本学に入学する前に、他の大学等において単位を修得した教養教育に関する科目について、教養教育科目の履修により単位を修得したものと見なし、所属学部により単位を認定することがあります。他の大学等における既修得単位の認定を希望する学生は、入学時に行う学部オリエンテーションの際、所属する学部の教務担当窓口へ申し出てください。

なお、単位認定に当たり、授業科目のシラバス、教科書等の提出を求めることがあります。

(2) 大学以外の教育施設等における学修の認定

一部の教養教育科目については、富山大学教養教育履修規則第16条に基づき大学以外の教育施設等における学修を本学の教養教育科目の履修とみなし、単位を修得することができます。学修の認定を希望する学生は、所属する学部の教務担当窓口に申し出てください。

対象となる教養教育科目及び単位数は以下のとおりです。

(i) 英語

英検	TOEIC (990)	TOEFL		IELTs (9.0)	ケンブリッジ 英検	国連英検	対応する教養教育科目及び与える単位数
		ITP (677)	iBT (120)				
2級	500～649	450～509	42～64	4.0 4.5	142～153	C	1単位
準1級	650～799	510～569	65～87	5.0 5.5	154～168	B	2単位
	800～859	570～592	88～96	6.0 6.5	169～184		3単位
1級	860～	593～	97～	7.0～	185～	A	4単位

(注) TOEICは、カレッジTOEIC (TOEIC IPテスト) を含む。TOEFL (PBT) はTOEFL (ITP) を含む。

() 内は当該試験の満点を示す。

対応する教養教育科目は、英語リテラシーⅠ、Ⅱ、英語コミュニケーションⅠ、Ⅱとする。

(ii) ドイツ語

ドイツ語技能検定試験	対応する教養教育科目及び与える単位数
4級	ドイツ語基礎Ⅰ及び ドイツ語コミュニケーションⅠ 2単位
3級以上	ドイツ語基礎Ⅰ、Ⅱ及び ドイツ語コミュニケーションⅠ、Ⅱ 4単位

(iii) フランス語

実用フランス語 技能検定試験 (仏検)	DELF・DALF	対応する教養教育科目及び与える単位数
5級		フランス語基礎Ⅰ又は フランス語コミュニケーションⅠ 1単位
4級	A1	フランス語基礎Ⅰ及び フランス語コミュニケーションⅠ 2単位
3級以上	A2以上	フランス語基礎Ⅰ、Ⅱ及び フランス語コミュニケーションⅠ、Ⅱ 4単位

Ⅵ 地域課題解決型人材育成プログラム

1 地域課題解決型人材育成プログラム

富山大学は平成 27 年度より、地（知）の拠点大学による地域創生推進事業（COC+）「富山全域の連携が生み出す地方創生－未来の地域リーダー育成－」を実施しています。

この COC+ 事業の中心となる未来の地域リーダーの育成に向けて、富山大学は、「富山大学地域課題解決型人材育成プログラムに関する規則」を制定し、以下に示す 3 つの COC+ 科目群から 4 科目 8 単位以上履修（単位修得）した学生に、地域課題解決型人材育成プログラム修了証を授与し、「未来の地域リーダー」の称号を付与します。

2 COC+ 科目群

(1) 地域志向科目群

富山県に関する基礎的な要素を含む富山の歴史・経済・自然に関する教養教育科目（詳しくは P. 8 「Ⅱ－6 地域志向科目」を参照）

(2) 地域課題解決科目群

学部の専門分野に応じた企業等及び地域でのフィールドワーク並びに地方公共団体及び企業等からの課題及び問題点に対する演習に取り組む等、地域に密着し課題を解決する力を養う内容の専門教育科目

(3) 地域関連科目群

富山県の歴史・生活・風土・環境その他の地域の特性を基に展開する授業内容を持つ専門教育科目

※それぞれの科目群に属する授業科目については、「富山大学シラバス」を参照してください。

<http://syllabus.adm.u-toyama.ac.jp/syllabus/>



新設の地域志向科目

未来の地域リーダー育成に向けた富山の自然や文化、地域課題、地域産業について理解を深めるための地域志向科目として、平成 28 年度に「富山学」、「地域ライフプラン」、「産業観光学」を新設しました。

更に平成 30 年度からは、富山のまちづくり、ものづくりについての理解を深める地域志向科目として「富山の地域づくり」、「富山のものづくり概論」を新設します。

これらは、富山大学で学ぶ学生として、富山をより深く理解する最適の科目です。

Ⅶ 関係規則

富山大学教養教育履修規則

平成30年3月27日制定
(学則改正日)

(趣旨)

第1条 この規則は、国立大学法人富山大学学則（以下「学則」という。）第55条第3項の規定に基づき、富山大学における教養教育の授業科目（以下「教養教育科目」という。）、単位数及び履修方法に関し、必要な事項を定める。

(教養教育の目的)

第2条 教養教育では、学修の基礎となる幅広い知識を身に付け、地域社会及び国際社会において活躍できる、豊かな人間性と創造的問題解決能力を持つ人材の養成を目的とする。

(定義)

第3条 この規則において、次の各号に掲げる用語の意義は、当該各号に定めるところによる。

- (1) 必修科目 卒業要件として必ず単位を修得すべき授業科目をいう。
- (2) 選択科目 学生の履修目的に応じて選択することができる授業科目であって、修得単位を卒業要件に算入する授業科目をいう。
- (3) 自由科目 認定した単位を卒業要件に算入しない授業科目をいう。
- (4) 地域志向科目 富山大学地域課題解決型人材育成プログラムに関する授業科目履修内規第2条に規定する地域志向科目群に属する教養教育科目をいう。

(授業科目の区分)

第4条 教養教育科目の区分は、次の各号に掲げるとおりとする。

- (1) 人文科学系
- (2) 社会科学系
- (3) 自然科学系
- (4) 理系基礎教育系
- (5) 医療・健康科学系
- (6) 総合科目系
- (7) 外国語系
- (8) 保健体育系
- (9) 情報処理系

(授業科目及び単位数)

第5条 教養教育科目及び単位数は、別表第1のとおりとする。
2 学部が教養教育科目として履修させる授業科目名、必修・選択の別、単位数等については、別表第2から2の11までのとおりとする。

(修得単位数)

第6条 教養教育科目として修得しなければならない単位数については、別表第3のとおりとする。

(単位計算方法)

第7条 各授業科目の1単位当たりの授業時間は、次のとおりとする。
(1) 講義及び演習については、15時間から30時間までの範囲の授業をもって1単位とする。
(2) 実験、実習及び実技については、30時間から45時間までの範囲の授業をもって1単位とする。
2 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合の単位

数を計算するに当たっては、前項に規定する基準を考慮し、その組み合わせに応じて定めることができる。

(授業科目の公示)

第8条 各学期に開設する授業科目、授業時間数及び授業担当教員等は、学年又は学期の初めに公示する。

(履修申告)

第9条 学生は、履修しようとする授業科目（以下「履修科目」という。）について、あらかじめ所定の期間内に履修申告をしなければならない。

2 履修申告をしなかった授業科目は、単位の認定を受けることができない。

3 履修科目を登録した後に、履修科目を変更するとき又は授業科目の履修を取りやめるときは、所定の期日までに履修科目の変更又は取消しを登録しなければならない。

4 同一授業科目が、同一時間帯に複数開設される場合、指定された授業クラス以外の受講は、原則として認めない。

5 経済学部夜間主コース以外の学生は、教養教育院が特に認めた場合を除き、経済学部夜間主コースに開講する授業科目を履修することができない。

6 経済学部夜間主コースの学生は、別表第2の4に掲げる授業科目で、富山大学授業に関する要項第2条第1項において規定する経済学部夜間主コース1時限及び2時限以外に開講するものについても履修することができる。

(履修科目の登録単位数の上限)

第10条 学生が教養教育の履修科目として登録することができる単位数の上限は、各学部の定めるところによる。

(成績評価及び単位の授与)

第11条 授業科目を履修し、試験等に合格した者には、教養教育院長は所定の単位を与える。

2 授業科目の成績は、100点を満点として次のとおりとし、秀、優、良及び可を合格とする。

- | | |
|----|------------|
| 秀 | 90点以上 |
| 優 | 80点以上90点未満 |
| 良 | 70点以上80点未満 |
| 可 | 60点以上70点未満 |
| 不可 | 60点未満 |

(試験)

第12条 試験は、学期末に行う。ただし、必要がある場合は、学期末以外の時期に行うことがある。

2 試験に関し必要な事項は、別に定める。

(追試験)

第13条 学生が、病氣その他やむを得ない事由により試験を受けることができなかった場合は、願い出により追試験を受けることができる。

2 追試験に関し必要な事項は、別に定める。

(再履修)

第14条 成績評価の結果、成績が不可と評価された授業科目の単位を修得する場合は、次学期以降に開講される当該授業科目を再履修することができる。

2 再履修に関し必要な事項は、別に定める。

(再試験)

第15条 成績評価の結果、所属学部が必修としている授業科目（講義に限る。）の成績が不可と評価され再履修ができない特段の事情があると認められる場合に限り、再試験を行うことがある。

2 再試験に関し必要な事項は、別に定める。

(大学以外の教育施設等における学修)

第16条 学則第60条の規定に基づき、文部科学大臣が別に定める学修を、本学の教養教育科目の履修とみなし、学部のでめるところにより単位を与えることができる。

(入学前の既修得単位の認定)

第17条 学則第61条の規定に基づき、教養教育に関する入学前の既修得単位は、所属学部と教養教育院で審査の上、本学における教養教育科目の履修により修得したものとみなし、学部の定めるところにより単位を与えることができる。

(その他)

第18条 この規則に定めるもののほか、教養教育科目の履修に関し必要な事項は、教養教育院教養教育企画実施委員会の意見を聴いて、教養教育院長が定める。

附 則

- 1 この規則は、平成30年4月1日から施行する。
- 2 平成29年度以前の入学者については、なお従前の例による。

別表第1 授業科目及び単位数(第5条関係)

系列	授業科目名	単位数	備考
	哲学のすすめ	2	
	人間と倫理	2	
	こころの科学	2	
	現代と教育	2	
	日本の歴史と社会	2	
	東洋の歴史と社会	2	
	西洋の歴史と社会	2	
	日本文学	2	
	外国文学	2	
	言語と文化	2	
	音楽	2	
	美術	2	
	言語表現	2	
	治療の文化史	2	
	異文化間コミュニケーション	2	
	異文化理解	2	外国人留学生限定
	現代社会論	2	
	日本国憲法	2	
	国家と市民	2	
	経済生活と法	2	
	市民生活と法	2	
	はじめの経済学	2	
	産業と経済を学ぶ	2	
	経営資源のとらえ方	2	
	市場と企業の関係	2	
	地域の経済と社会・文化	2	
	地球と環境	2	
	生命の世界	2	
	物理の世界	2	
	化学物質の世界	2	
	自然と情報の数理	2	
	社会と情報の数理	2	
	技術の世界	2	
	材料の科学	2	
	生活の科学	2	
	コンピュータの話	2	
	デザインと生物	2	
	解剖学-A	2	
	解剖学-B	2	
	微分積分I-A	2	
	微分積分I-B	2	
	微分積分I-C	2	
	微分積分I-D	2	
	微分積分I-E	2	
	線形代数	2	

線形代数I-A	2
線形代数I-B	2
線形代数I-C	2
線形代数I-D	2
線形代数I-E	2
自然現象のモデル化とその解析	2
物理学序説I	2
物理学序説II	2
物理学I-A	2
物理学I-B	2
物理学II-A	2
物理学II-B	2
物理学実験-A	1
物理学実験-B	2
基礎物理学-A	2
基礎物理学-B	2
現代物理学入門	2
基礎化学-A	2
基礎化学-B	2
生体有機化学	2
化学実験-A	1
化学実験-B	1
基礎化学-C	2
基礎化学-D	2
基礎化学-E	2
量子化学入門	2
生命科学I-A	2
生命科学I-B	2
生命科学I-C	2
生命科学II-A	2
生命科学II-B	2
生命科学II-C	2
生物学実験-A	1
生物学実験-B	1
基礎生物学-A	2
基礎生物学-B	2
生物無機化学入門	2
生物圏環境科学概論	2
医療心理学	2
概説医療心理学	1
認知科学	2
脳科学入門	2
生命科学入門	1
免疫学入門	2
身近な医学	2
障害とアクセシビリティ	2
医療と地域社会	2
環境	2
ジェンダー	2
技術と社会	2

医療・健康科学系

総合

現代文化	2	フランス語基礎Ⅰ	1
人権と福祉	2	フランス語基礎Ⅱ	1
環日本海	2	フランス語コミュニケーションⅠ	1
科学と社会	2	フランス語コミュニケーションⅡ	1
アカデミック・デザイン	2	中国語基礎Ⅰ	1
ビジネス思考	2	中国語基礎Ⅱ	1
平和学入門	2	中国語コミュニケーションⅠ	1
東アジア共同体論 - 政治・経済・文化・新聞投稿に挑戦	2	中国語コミュニケーションⅡ	1
富山から考える震災・復興学	2	朝鮮語基礎Ⅰ	1
探検と安全管理	2	朝鮮語基礎Ⅱ	1
万葉学	2	朝鮮語コミュニケーションⅠ	1
日本海学	2	朝鮮語コミュニケーションⅡ	1
富山大学学	2	ロシア語基礎Ⅰ	1
とやま地域学	2	ロシア語基礎Ⅱ	1
時事的問題	2	ロシア語コミュニケーションⅠ	1
災害救援ボランティア論	2	ロシア語コミュニケーションⅡ	1
感性をめぐむ	2	日本語リテラシーⅠ	1
日本事情/芸術文化	2	日本語リテラシーⅡ	1
日本事情/自然社会	2	日本語コミュニケーションⅠ	1
学士力・人間力基礎	2	日本語コミュニケーションⅡ	1
富山学	2	発展多言語演習ドイツ語	1
地域ライフプラン	2	発展多言語演習中国語	1
産業観光学	2	発展多言語演習ラテン語Ⅰ	1
富山のものづくり概論	2	発展多言語演習ラテン語Ⅱ	1
富山の地域づくり	2	発展多言語演習ラテン語Ⅲ	1
英語リテラシーⅠ-A	1	日本語リテラシーⅢ	1
英語リテラシーⅠ-B	1	日本語/専門研究	1
英語リテラシーⅠ-C	1	日本語/ビジネス	1
英語リテラシーⅠ-D	1	健康・スポーツ/講義	1
英語リテラシーⅠ-E	1	健康・スポーツ/実技	1
英語リテラシーⅡ-A	1	情報処理-A	2
英語リテラシーⅡ-B	1	情報処理-B	2
英語リテラシーⅡ-C	1	情報処理-C	2
英語リテラシーⅡ-D	1	応用情報処理	2
英語リテラシーⅡ-E	1		
英語コミュニケーションⅠ-A	1		
英語コミュニケーションⅠ-B	1		
英語コミュニケーションⅠ-C	1		
英語コミュニケーションⅠ-D	1		
英語コミュニケーションⅠ-E	1		
英語コミュニケーションⅡ-A	1		
英語コミュニケーションⅡ-B	1		
英語コミュニケーションⅡ-C	1		
英語コミュニケーションⅡ-D	1		
英語コミュニケーションⅡ-E	1		
ドイツ語基礎Ⅰ	1		
ドイツ語基礎Ⅱ	1		
ドイツ語コミュニケーションⅠ	1		
ドイツ語コミュニケーションⅡ	1		

科目系			
現代文化	2	フランス語基礎Ⅰ	1
人権と福祉	2	フランス語基礎Ⅱ	1
環日本海	2	フランス語コミュニケーションⅠ	1
科学と社会	2	フランス語コミュニケーションⅡ	1
アカデミック・デザイン	2	中国語基礎Ⅰ	1
ビジネス思考	2	中国語基礎Ⅱ	1
平和学入門	2	中国語コミュニケーションⅠ	1
東アジア共同体論 - 政治・経済・文化・新聞投稿に挑戦	2	中国語コミュニケーションⅡ	1
富山から考える震災・復興学	2	朝鮮語基礎Ⅰ	1
探検と安全管理	2	朝鮮語基礎Ⅱ	1
万葉学	2	朝鮮語コミュニケーションⅠ	1
日本海学	2	朝鮮語コミュニケーションⅡ	1
富山大学学	2	ロシア語基礎Ⅰ	1
とやま地域学	2	ロシア語基礎Ⅱ	1
時事的問題	2	ロシア語コミュニケーションⅠ	1
災害救援ボランティア論	2	ロシア語コミュニケーションⅡ	1
感性をめぐむ	2	日本語リテラシーⅠ	1
日本事情/芸術文化	2	日本語リテラシーⅡ	1
日本事情/自然社会	2	日本語コミュニケーションⅠ	1
学士力・人間力基礎	2	日本語コミュニケーションⅡ	1
富山学	2	発展多言語演習ドイツ語	1
地域ライフプラン	2	発展多言語演習中国語	1
産業観光学	2	発展多言語演習ラテン語Ⅰ	1
富山のものづくり概論	2	発展多言語演習ラテン語Ⅱ	1
富山の地域づくり	2	発展多言語演習ラテン語Ⅲ	1
英語リテラシーⅠ-A	1	日本語リテラシーⅢ	1
英語リテラシーⅠ-B	1	日本語/専門研究	1
英語リテラシーⅠ-C	1	日本語/ビジネス	1
英語リテラシーⅠ-D	1	健康・スポーツ/講義	1
英語リテラシーⅠ-E	1	健康・スポーツ/実技	1
英語リテラシーⅡ-A	1	情報処理-A	2
英語リテラシーⅡ-B	1	情報処理-B	2
英語リテラシーⅡ-C	1	情報処理-C	2
英語リテラシーⅡ-D	1	応用情報処理	2
英語リテラシーⅡ-E	1		
英語コミュニケーションⅠ-A	1		
英語コミュニケーションⅠ-B	1		
英語コミュニケーションⅠ-C	1		
英語コミュニケーションⅠ-D	1		
英語コミュニケーションⅠ-E	1		
英語コミュニケーションⅡ-A	1		
英語コミュニケーションⅡ-B	1		
英語コミュニケーションⅡ-C	1		
英語コミュニケーションⅡ-D	1		
英語コミュニケーションⅡ-E	1		
ドイツ語基礎Ⅰ	1		
ドイツ語基礎Ⅱ	1		
ドイツ語コミュニケーションⅠ	1		
ドイツ語コミュニケーションⅡ	1		

別表第2 人文学部

系列	授業科目名	必修・ 選択	単位数	備考
人文科学系	哲学のすすめ	選択	2	
	人間と倫理	選択	2	
	こころの科学	選択	2	
	現代と教育	選択	2	
	日本の歴史と社会	選択	2	
	東洋の歴史と社会	選択	2	
	日本文学	選択	2	
	外国文学	選択	2	
	言語と文化	選択	2	
	音楽	選択	2	
	美術	選択	2	
	言語表現	選択	2	
	治療の文化史	選択	2	
	異文化間コミュニケーション	選択	2	
	異文化理解	選択	2	外国人留学生限定
	現代社会論	選択	2	
	日本国憲法	選択	2	
	国家と市民	選択	2	
	経済生活と法	選択	2	
	市民生活と法	選択	2	
はじめての経済学	選択	2		
産業と経済を学ぶ	選択	2		
経営資源のとらえ方	選択	2		
市場と企業の関係	選択	2		
地域の経済と社会・文化	選択	2		
地球と環境	選択	2		
生命の世界	選択	2		
物理の世界	選択	2		
化学物質の世界	選択	2		
自然と情報の数理	選択	2		
社会と情報の数理	選択	2		
技術の世界	選択	2		
材料の科学	選択	2		
生活の科学	選択	2		
コンピュータの話	選択	2		
デザインと生物	選択	2		
医療心理学	選択	2		
認知科学	選択	2		
脳科学入門	選択	2		
免疫学入門	選択	2		
身近な医学	選択	2		
障害とアクセシビリティ	選択	2		
医療と地域社会	選択	2		

環境	選択	2
ジェンダー	選択	2
技術と社会	選択	2
現代文化	選択	2
人権と福祉	選択	2
環日本海	選択	2
科学と社会	選択	2
アカデミック・デザイン	選択	2
ビジネス思考	選択	2
平和学入門	選択	2
東アジア共同体論－政治・経済・文化・新聞投稿に挑戦	選択	2
富山から考える震災・復興学	選択	2
環境と安全管理	選択	2
万葉学	選択	2
日本海学	選択	2
富山大学学	選択	2
とやま地域学	選択	2
時事的問題	選択	2
災害救済ボランティア論	選択	2
感性をはぐくむ	選択	2
日本事情/芸術文化	選択	2
日本事情/自然社会	選択	2
学士力・人間力基礎	選択	2
富山学	選択	2
地域ライフプラン	選択	2
産業観光学	選択	2
富山のものづくり概論	選択	2
富山の地域づくり	選択	2
英語リテラシーⅠ－A	必修	1
英語リテラシーⅡ－A	必修	1
英語コミュニケーションⅠ－A	必修	1
英語コミュニケーションⅡ－A	必修	1
ドイツ語基礎Ⅰ	選択	1
ドイツ語基礎Ⅱ	選択	1
ドイツ語コミュニケーションⅠ	選択	1
ドイツ語コミュニケーションⅡ	選択	1
フランス語基礎Ⅰ	選択	1
フランス語基礎Ⅱ	選択	1
フランス語コミュニケーションⅠ	選択	1
フランス語コミュニケーションⅡ	選択	1
中国語基礎Ⅰ	選択	1
中国語基礎Ⅱ	選択	1
中国語コミュニケーションⅠ	選択	1
中国語コミュニケーションⅡ	選択	1
朝鮮語基礎Ⅰ	選択	1
朝鮮語基礎Ⅱ	選択	1
朝鮮語コミュニケーションⅠ	選択	1
朝鮮語コミュニケーションⅡ	選択	1
ロシア語基礎Ⅰ	選択	1

総合科目系

外国語系

ロシア語基礎Ⅱ	選択	1	
ロシア語コミュニケーションⅠ	選択	1	
ロシア語コミュニケーションⅡ	選択	1	
日本語リテラシーⅠ	選択	1	外国人留学生限定
日本語リテラシーⅡ	選択	1	外国人留学生限定
日本語コミュニケーションⅠ	選択	1	外国人留学生限定
日本語コミュニケーションⅡ	選択	1	外国人留学生限定
発展多言語演習ドイツ語	自由	1	
発展多言語演習中国語	自由	1	
発展多言語演習ラテン語Ⅰ	自由	1	
発展多言語演習ラテン語Ⅱ	自由	1	
発展多言語演習ラテン語Ⅲ	自由	1	外国人留学生限定
日本語リテラシーⅢ	自由	1	外国人留学生限定
日本語/専門研究	自由	1	外国人留学生限定
日本語/ビジネス	自由	1	外国人留学生限定
健康・スポーツ/講義	必修	1	
健康・スポーツ/実技	必修	1	
情報処理-A	必修	2	
応用情報処理	選択	2	

別表第2の2 人間発達科学部

系列	授業科目名	必修・選択	単位数	備考
人文科学系	哲学のすすめ	選択	2	
	人間と倫理	選択	2	
	こころの科学	選択	2	
	日本の歴史と社会	選択	2	
	東洋の歴史と社会	選択	2	
	西洋の歴史と社会	選択	2	
	日本文学	選択	2	
	外国文学	選択	2	
	言語と文化	選択	2	
	音楽	選択	2	
	美術	選択	2	
	言語表現	選択	2	
	治療の文化史	選択	2	
	異文化間コミュニケーション	選択	2	
	異文化理解	選択	2	外国人留学生限定
	現代社会論	選択	2	
	日本国憲法	選択	2	
	国家と市民	選択	2	
	経済生活と法	選択	2	
	市民生活と法	選択	2	
社会科学系	はじめの経済学	選択	2	
	産業と経済を学ぶ	選択	2	
	経営資源のとらえ方	選択	2	
	市場と企業の関係	選択	2	
	地域の経済と社会・文化	選択	2	
	地球と環境	選択	2	
	生命の世界	選択	2	
	物理の世界	選択	2	
	化学物質の世界	選択	2	
	自然と情報の数理	選択	2	
自然科学系	社会と情報の数理	選択	2	
	技術の世界	選択	2	
	材料の科学	選択	2	
	生活の科学	選択	2	
	コンピュータの話	選択	2	
	デザインと生物	選択	2	
	医療心理学	選択	2	
	概説医療心理学	選択	1	
	認知科学	選択	2	
	脳科学入門	選択	2	
医療・健康科学系	生命科学入門	選択	1	
	免疫学入門	選択	2	
	身近な医学	選択	2	

総合科目系	障害とアクセシビリティ	選択	2
	医療と地域社会	選択	2
外国語系	環境	選択	2
	ジェンダー	選択	2
外国語系	技術と社会	選択	2
	現代文化	選択	2
外国語系	人権と福祉	選択	2
	環日本海	選択	2
外国語系	科学と社会	選択	2
	アカデミック・デザイン	選択	2
外国語系	ビジネス思考	選択	2
	平和学入門	選択	2
外国語系	東アジア共同体論－政治・経済・文化－	選択	2
	新聞投稿に挑戦	選択	2
外国語系	富山から考える震災・復興学	選択	2
	環境と安全管理	選択	2
外国語系	万葉学	選択	2
	日本海学	選択	2
外国語系	富山大学学	選択	2
	とやま地域学	選択	2
外国語系	時事的問題	選択	2
	災害救援ボランティア論	選択	2
外国語系	感性をほぐくむ	選択	2
	日本事情／芸術文化	選択	2
外国語系	日本事情／自然社会	選択	2
	学生力・人間力基礎	選択	2
外国語系	富山学	選択	2
	地域ライフプラン	選択	2
外国語系	産業観光学	選択	2
	富山のものづくり概論	選択	2
外国語系	富山の地域づくり	選択	2
	英語リテラシーⅠ－A	必修	1
外国語系	英語リテラシーⅡ－A	必修	1
	英語コミュニケーションⅠ－A	必修	1
外国語系	英語コミュニケーションⅡ－A	必修	1
	ドイツ語基礎Ⅰ	選択	1
外国語系	ドイツ語基礎Ⅱ	選択	1
	ドイツ語コミュニケーションⅠ	選択	1
外国語系	ドイツ語コミュニケーションⅡ	選択	1
	フランス語基礎Ⅰ	選択	1
外国語系	フランス語基礎Ⅱ	選択	1
	フランス語コミュニケーションⅠ	選択	1
外国語系	フランス語コミュニケーションⅡ	選択	1
	中国語基礎Ⅰ	選択	1
外国語系	中国語基礎Ⅱ	選択	1
	中国語コミュニケーションⅠ	選択	1
外国語系	中国語コミュニケーションⅡ	選択	1
	朝鮮語基礎Ⅰ	選択	1
外国語系	朝鮮語基礎Ⅱ	選択	1
	朝鮮語コミュニケーションⅠ	選択	1

保健 体育系	朝鮮語コミュニケーションⅡ	選択	1
	ロシア語基礎Ⅰ	選択	1
保健 体育系	ロシア語基礎Ⅱ	選択	1
	ロシア語コミュニケーションⅠ	選択	1
保健 体育系	ロシア語コミュニケーションⅡ	選択	1
	日本語リテラシーⅠ	選択	1
保健 体育系	日本語リテラシーⅡ	選択	1
	日本語コミュニケーションⅠ	選択	1
保健 体育系	日本語コミュニケーションⅡ	選択	1
	発展多言語演習ドイツ語	自由	1
保健 体育系	発展多言語演習中国語	自由	1
	発展多言語演習ラテン語Ⅰ	自由	1
保健 体育系	発展多言語演習ラテン語Ⅱ	自由	1
	発展多言語演習ラテン語Ⅲ	自由	1
保健 体育系	日本語リテラシーⅢ	自由	1
	日本語／専門研究	自由	1
保健 体育系	日本語／ビジネス	自由	1
	健康・スポーツ／講義	必修	1
保健 体育系	健康・スポーツ／実技	必修	1
	情報処理－A	必修	2
保健 体育系	応用情報処理	選択	2

別表第2の3 経済学部（昼間主コース）

系列	授業科目名	必修・選択	単位数	備考
人文学系	哲学のすすめ	選択	2	
	人間と倫理	選択	2	
	こころの科学	選択	2	
	現代と教育	選択	2	
	日本の歴史と社会	選択	2	
	東洋の歴史と社会	選択	2	
	西洋の歴史と社会	選択	2	
	日本文学	選択	2	
	外国文学	選択	2	
	言語と文化	選択	2	
	音楽	選択	2	
	美術	選択	2	
	言語表現	選択	2	
	治療の文化史	選択	2	
	異文化間コミュニケーション	選択	2	
	異文化理解	選択	2	外国人留学生限定
	現代社会論	選択	2	
	日本国憲法	選択	2	
	国家と市民	選択	2	
	経済生活と法	選択	2	
社会科学系	市民生活と法	選択	2	
	産業と経済を学ぶ	選択	2	
	経営資源のとらえ方	選択	2	
	市場と企業の関係	選択	2	
	地域の経済と社会・文化	選択	2	
	地球と環境	選択	2	
	生命の世界	選択	2	
	物理の世界	選択	2	
	化学物質の世界	選択	2	
	自然と情報の数理	選択	2	
自然科学系	社会と情報の数理	選択	2	
	技術の世界	選択	2	
	材料の科学	選択	2	
	生活の科学	選択	2	
	コンピュータの話	選択	2	
	デザインと生物	選択	2	
	医療心理学	選択	2	
	認知科学	選択	2	
	脳科学入門	選択	2	
	免疫学入門	選択	2	
医療・健康科学系	身近な医学	選択	2	
	障害とアクセシビリティ	選択	2	
	医療と地域社会	選択	2	
		選択	2	

環境	選択	2
ジェンダー	選択	2
技術と社会	選択	2
現代文化	選択	2
人権と福祉	選択	2
環日本海	選択	2
科学と社会	選択	2
アカデミック・デザイン	選択	2
ビジネス思考	選択	2
平和学入門	選択	2
東アジア共同体論－政治・経済・文化・	選択	2
新聞投稿に挑戦	選択	2
富山から考える震災・復興学	選択	2
環境と安全管理	選択	2
万葉学	選択	2
日本海学	選択	2
富山大学学	選択	2
とやま地域学	選択	2
時事的問題	選択	2
災害救援ボランティア論	選択	2
感性をほぐくむ	選択	2
日本事情/芸術文化	選択	2
日本事情/自然社会	選択	2
富山学	選択	2
地域ライフプラン	選択	2
産業観光学	選択	2
富山のものづくり概論	選択	2
富山の地域づくり	選択	2
英語リテラシーⅠ－A	必修	1
英語リテラシーⅡ－A	必修	1
英語コミュニケーションⅠ－A	必修	1
英語コミュニケーションⅡ－A	必修	1
ドイツ語基礎Ⅰ	選択	1
ドイツ語基礎Ⅱ	選択	1
ドイツ語コミュニケーションⅠ	選択	1
ドイツ語コミュニケーションⅡ	選択	1
フランス語基礎Ⅰ	選択	1
フランス語基礎Ⅱ	選択	1
フランス語コミュニケーションⅠ	選択	1
フランス語コミュニケーションⅡ	選択	1
中国語基礎Ⅰ	選択	1
中国語基礎Ⅱ	選択	1
中国語コミュニケーションⅠ	選択	1
中国語コミュニケーションⅡ	選択	1
朝鮮語基礎Ⅰ	選択	1
朝鮮語基礎Ⅱ	選択	1
朝鮮語コミュニケーションⅠ	選択	1
朝鮮語コミュニケーションⅡ	選択	1
ロシア語基礎Ⅰ	選択	1
ロシア語基礎Ⅱ	選択	1

総合科目系

外国語系

ロシア語コミュニケーションⅠ	選択	1	
ロシア語コミュニケーションⅡ	選択	1	
日本語リテラシーⅠ	選択	1	外国人留學生限定
日本語リテラシーⅡ	選択	1	外国人留學生限定
日本語コミュニケーションⅠ	選択	1	外国人留學生限定
日本語コミュニケーションⅡ	選択	1	外国人留學生限定
発展多言語演習ドイツ語	自由	1	
発展多言語演習中国語	自由	1	
発展多言語演習ラテン語Ⅰ	自由	1	
発展多言語演習ラテン語Ⅱ	自由	1	
発展多言語演習ラテン語Ⅲ	自由	1	外国人留學生限定
日本語リテラシーⅢ	自由	1	外国人留學生限定
日本語/専門研究	自由	1	外国人留學生限定
日本語/ビジネス	自由	1	外国人留學生限定
健康・スポーツ/講義	必修	1	
健康・スポーツ/実技	必修	1	
情報処理ーA	必修	2	
心用情報処理	選択	2	

別表第2の4 経済学部（夜間主コース）

系列	授業科目名	必修・選択	単位数	備考
人文科学系	哲学のすすめ	選択	2	
	人間と倫理	選択	2	
	こころの科学	選択	2	
	現代と教育	選択	2	
	日本の歴史と社会	選択	2	
	東洋の歴史と社会	選択	2	
	西洋の歴史と社会	選択	2	
	日本文学	選択	2	
	外国文学	選択	2	
	言語と文化	選択	2	
	音楽	選択	2	
	美術	選択	2	
	言語表現	選択	2	
	治療の文化史	選択	2	
	異文化間コミュニケーション	選択	2	
	異文化理解	選択	2	外国人留學生限定
	現代社会論	選択	2	
	日本国憲法	選択	2	
	国家と市民	選択	2	
	経済生活と法	選択	2	
社会科学系	市民生活と法	選択	2	
	はじめての経済学	選択	2	
	産業と経済を学ぶ	選択	2	
	経営資源のとらえ方	選択	2	
	市場と企業の関係	選択	2	
	地域の経済と社会・文化	選択	2	
	地球と環境	選択	2	
	生命の世界	選択	2	
	物理の世界	選択	2	
	化学物質の世界	選択	2	
自然科学系	自然と情報の数理	選択	2	
	社会と情報の数理	選択	2	
	技術の世界	選択	2	
	材料の科学	選択	2	
	生活の科学	選択	2	
	コンピュータの話	選択	2	
	デザインと生物	選択	2	
	医療心理学	選択	2	
	認知科学	選択	2	
	脳科学入門	選択	2	
医療・健康科学系	免疫学入門	選択	2	
	身近な医学	選択	2	
	障害とアクセシビリティ	選択	2	
	医療と地域社会	選択	2	

総合科目系	環境	選択	2	
	ジェンダー	選択	2	
	技術と社会	選択	2	
	現代文化	選択	2	
	人権と福祉	選択	2	
	環日本海	選択	2	
	科学と社会	選択	2	
	アカデミック・デザイン	選択	2	
	ビジネス思考	選択	2	
	平和学入門	選択	2	
	東アジア共同体論－政治・経済・文化・新聞投稿に挑戦	選択	2	
	富山から考える震災・復興学	選択	2	
	環境と安全管理	選択	2	
	万葉学	選択	2	
	日本海学	選択	2	
	富山大学学	選択	2	
	とやま地域学	選択	2	
	時事的問題	選択	2	
	災害救援ボランティア論	選択	2	
	感性をはぐくむ	選択	2	
	日本事情／芸術文化	選択	2	外国人留学生限定
	日本事情／自然社会	選択	2	外国人留学生限定
	富山学	選択	2	
	地域ライフブラン	選択	2	
	産業観光学	選択	2	
	富山のものづくり概論	選択	2	
	富山の地域づくり	選択	2	
	英語リテラシーⅠ－A	必修	1	
	英語リテラシーⅡ－A	必修	1	
	英語コミュニケーションⅠ－A	必修	1	
	英語コミュニケーションⅡ－A	必修	1	
	ドイツ語基礎Ⅰ	選択	1	
	ドイツ語基礎Ⅱ	選択	1	
	ドイツ語コミュニケーションⅠ	選択	1	
	ドイツ語コミュニケーションⅡ	選択	1	
	フランス語基礎Ⅰ	選択	1	
	フランス語基礎Ⅱ	選択	1	
フランス語コミュニケーションⅠ	選択	1		
フランス語コミュニケーションⅡ	選択	1		
中国語基礎Ⅰ	選択	1		
中国語基礎Ⅱ	選択	1		
中国語コミュニケーションⅠ	選択	1		
中国語コミュニケーションⅡ	選択	1		
朝鮮語基礎Ⅰ	選択	1		
朝鮮語基礎Ⅱ	選択	1		
朝鮮語コミュニケーションⅠ	選択	1		
朝鮮語コミュニケーションⅡ	選択	1		
ロシア語基礎Ⅰ	選択	1		
ロシア語基礎Ⅱ	選択	1		

外国語系	ロシア語コミュニケーションⅠ	選択	1	
	ロシア語コミュニケーションⅡ	選択	1	
	日本語リテラシーⅠ	選択	1	外国人留学生限定
	日本語リテラシーⅡ	選択	1	外国人留学生限定
	日本語コミュニケーションⅠ	選択	1	外国人留学生限定
	日本語コミュニケーションⅡ	選択	1	外国人留学生限定
	発展多言語演習ドイツ語	自由	1	
	発展多言語演習中国語	自由	1	
	発展多言語演習ラテン語Ⅰ	自由	1	
	発展多言語演習ラテン語Ⅱ	自由	1	
	発展多言語演習ラテン語Ⅲ	自由	1	外国人留学生限定
	日本語リテラシーⅢ	自由	1	外国人留学生限定
	日本語／専門研究	自由	1	外国人留学生限定
	日本語／ビジネス	自由	1	外国人留学生限定
	健康・スポーツ／実技	必修	1	
	情報処理－A	必修	2	
	応用情報処理	選択	2	

別表第2の5 理学部

系列	授業科目名	必修・ 選択	単 位 数	備考
人 文 科 学 系	哲学のすすめ	選択	2	
	人間と倫理	選択	2	
	こころの科学	選択	2	
	現代と教育	選択	2	
	日本の歴史と社会	選択	2	
	東洋の歴史と社会	選択	2	
	西洋の歴史と社会	選択	2	
	日本文学	選択	2	
	外国文学	選択	2	
	言語と文化	選択	2	
	音楽	選択	2	
	美術	選択	2	
	言語表現	選択	2	
	治癒の文化史	選択	2	
	異文化間コミュニケーション	選択	2	
	異文化理解	選択	2	外国人留学生限定
	現代社会論	選択	2	
	日本国憲法	選択	2	
	国家と市民	選択	2	
	経済生活と法	選択	2	
市民生活と法	選択	2		
はじめての経済学	選択	2		
産業と経済を学ぶ	選択	2		
経営資源のとらえ方	選択	2		
市場と企業の関係	選択	2		
地域の経済と社会・文化	選択	2		
地球と環境	選択	2		
生命の世界	選択	2		
物理の世界	選択	2		
化学物質の世界	選択	2		
自然と情報の数理	選択	2		
社会と情報の数理	選択	2		
技術の世界	選択	2		
材料の科学	選択	2		
生活の科学	選択	2		
コンピュータの話	選択	2		
デザインと生物	選択	2		
医療心理学	選択	2		
概説医療心理学	選択	1		
認知科学	選択	2		
脳科学入門	選択	2		
生命科学入門	選択	1		
免疫学入門	選択	2		

系列	授業科目名	必修・ 選択	単 位 数	備考
総 合 科 目 系	身近な医学	選択	2	
	障害とアクセシビリティ	選択	2	
	医療と地域社会	選択	2	
	環境	選択	2	
	ジェンダー	選択	2	
	技術と社会	選択	2	
	現代文化	選択	2	
	人権と福祉	選択	2	
	環日本海	選択	2	
	科学と社会	選択	2	
	アカデミック・デザイン	選択	2	
	ビジネス思考	選択	2	
	平和学入門	選択	2	
	東アジア共同体論—政治・経済・文化—	選択	2	
	新聞投稿に挑戦	選択	2	
	富山から考える震災・復興学	選択	2	
	環境と安全管理	選択	2	
	万葉学	選択	2	
	日本海学	選択	2	
	富山大学学	選択	2	
	とやま地域学	選択	2	
	時事的問題	選択	2	
	災害救援ボランティア論	選択	2	
	感性をはぐくむ	選択	2	
	日本事情／芸術文化	選択	2	外国人留学生限定
	日本事情／自然社会	選択	2	外国人留学生限定
	学士力・人間力基礎	選択	2	
	富山学	選択	2	
	地域ライフブラン	選択	2	
	産業観光学	選択	2	
	富山のものづくり概論	選択	2	
	富山の地域づくり	選択	2	
	英語リテラシーⅠ-A	必修	1	
	英語リテラシーⅡ-A	必修	1	
	英語コミュニケーションⅠ-A	必修	1	
	英語コミュニケーションⅡ-A	必修	1	
	ドイツ語基礎Ⅰ	選択	1	
	ドイツ語基礎Ⅱ	選択	1	
	ドイツ語コミュニケーションⅠ	選択	1	
	ドイツ語コミュニケーションⅡ	選択	1	
フランス語基礎Ⅰ	選択	1		
フランス語基礎Ⅱ	選択	1		
フランス語コミュニケーションⅠ	選択	1		
フランス語コミュニケーションⅡ	選択	1		
中国語基礎Ⅰ	選択	1		
中国語基礎Ⅱ	選択	1		
中国語コミュニケーションⅠ	選択	1		
中国語コミュニケーションⅡ	選択	1		
朝鮮語基礎Ⅰ	選択	1		

朝鮮語基礎Ⅱ	選択	1	
朝鮮語コミュニケーションⅠ	選択	1	
朝鮮語コミュニケーションⅡ	選択	1	
ロシア語基礎Ⅰ	選択	1	
ロシア語基礎Ⅱ	選択	1	
ロシア語コミュニケーションⅠ	選択	1	
ロシア語コミュニケーションⅡ	選択	1	
日本語リテラシーⅠ	選択	1	外国人留學生限定
日本語リテラシーⅡ	選択	1	外国人留學生限定
日本語コミュニケーションⅠ	選択	1	外国人留學生限定
日本語コミュニケーションⅡ	選択	1	外国人留學生限定
発展多言語演習ドイツ語	自由	1	
発展多言語演習中国語	自由	1	
発展多言語演習ラテン語Ⅰ	自由	1	
発展多言語演習ラテン語Ⅱ	自由	1	
発展多言語演習ラテン語Ⅲ	自由	1	外国人留學生限定
日本語リテラシーⅢ	自由	1	外国人留學生限定
日本語/専門研究	自由	1	外国人留學生限定
日本語/ビジネス	自由	1	外国人留學生限定
健康・スポーツ/講義	必修	1	
健康・スポーツ/実技	必修	1	
情報処理-A	必修	2	
応用情報処理	選択	2	

別表第2の6 医学部医学科

系列	授業科目名	必修・選択	単位数	備考
人文科学系	哲学のすすめ	選択	2	
	人間と倫理	選択	2	
	こころの科学	選択	2	
	現代と教育	選択	2	
	日本の歴史と社会	選択	2	
	東洋の歴史と社会	選択	2	
	西洋の歴史と社会	選択	2	
	日本文学	選択	2	
	外国文学	選択	2	
	言語と文化	選択	2	
	音楽	選択	2	
	美術	選択	2	
	言語表現	選択	2	
	治療の文化史	選択	2	
	異文化間コミュニケーション	選択	2	
	異文化理解	選択	2	外国人留學生限定
	現代社会論	選択	2	
	日本国憲法	選択	2	
	国家と市民	選択	2	
	経済生活と法	選択	2	
市民生活と法	選択	2		
はじめての経済学	選択	2		
産業と経済を学ぶ	選択	2		
経営資源のとらえ方	選択	2		
市場と企業の関係	選択	2		
地域の経済と社会・文化	選択	2		
地球と環境	自由	2		
生命の世界	自由	2		
物理の世界	自由	2		
化学物質の世界	自由	2		
自然と情報の数理	自由	2		
社会と情報の数理	自由	2		
技術の世界	自由	2		
材料の科学	自由	2		
生活の科学	自由	2		
コンピュータの話	自由	2		
デザインと生物	自由	2		
生命科学Ⅰ-A	必修	2		
生命科学Ⅱ-A	必修	2		
生物学実験-A	必修	1		
解剖学-A	選択	2	「解剖学-A」と「解剖学-B」からいずれか一つを選択必修	
解剖学-B	選択	2	「解剖学-A」と「解剖学-B」からいずれか一つを選択必修	
線形代数学	選択	2		
物理学Ⅰ-A	選択	2	「物理学-A」と「物理学-B」からいずれか一つを選択必修	

物理学Ⅰ－B	選択	2	物理学Ⅰ-Aと「物理学Ⅰ-B」からいずれか一つの選択必修
物理学Ⅱ－A	選択	2	物理学Ⅰ-Aと「物理学Ⅱ-B」からいずれか一つの選択必修
物理学Ⅱ－B	選択	2	物理学Ⅰ-Aと「物理学Ⅱ-B」からいずれか一つの選択必修
物理学実験－A	必修	1	
現代物理学入門	選択	2	
基礎化学－A	必修	2	
生体有機化学	必修	2	
化学実験－A	必修	1	
量子化学入門	選択	2	
自然現象のモデル化とその解析	選択	2	
生物無機化学入門	選択	2	
医療心理学	自由	2	
概説医療心理学	必修	1	
認知科学	選択	2	
脳科学入門	選択	2	
生命科学入門	選択	1	
免疫学入門	選択	2	
身近な医学	選択	2	
障害とアクセシビリティ	選択	2	
医療と地域社会	選択	2	
環境	選択	2	
ジェンダー	選択	2	
技術と社会	選択	2	
現代文化	選択	2	
人権と福祉	選択	2	
環日本海	選択	2	
科学と社会	選択	2	
アカデミック・デザイン	選択	2	
ビジネス思考	選択	2	
平和学入門	選択	2	
東アジア共同体論－政治・経済・文化・新聞投議に挑戦	選択	2	
富山から考える震災・復興学	選択	2	
環境と安全管理	選択	2	
万葉学	選択	2	
日本海学	選択	2	
富山大学学	選択	2	
とやま地域学	選択	2	
時事的問題	選択	2	
災害救援ボランティア論	選択	2	
感性をほぐくむ	選択	2	
日本事情／芸術文化	選択	2	外国人留学生限定
日本事情／自然社会	選択	2	外国人留学生限定
学士力・人間力基礎	選択	2	
富山学	選択	2	
地域ライフプラン	選択	2	
産業観光学	選択	2	
富山のものづくり概論	選択	2	
富山の地域づくり	選択	2	

医療・健康科学系

総合科目系

英語リテラシーⅠ－B	必修	1	
英語リテラシーⅡ－B	必修	1	
英語コミュニケーション－B	必修	1	
英語コミュニケーションⅡ－B	必修	1	
ドイツ語基礎Ⅰ	選択	1	
ドイツ語基礎Ⅱ	選択	1	
ドイツ語コミュニケーションⅠ	選択	1	
ドイツ語コミュニケーションⅡ	選択	1	
フランス語基礎Ⅰ	選択	1	
フランス語基礎Ⅱ	選択	1	
フランス語コミュニケーションⅠ	選択	1	
フランス語コミュニケーションⅡ	選択	1	
中国語基礎Ⅰ	選択	1	
中国語基礎Ⅱ	選択	1	
中国語コミュニケーションⅠ	選択	1	
中国語コミュニケーションⅡ	選択	1	
朝鮮語基礎Ⅰ	選択	1	
朝鮮語基礎Ⅱ	選択	1	
朝鮮語コミュニケーションⅠ	選択	1	
朝鮮語コミュニケーションⅡ	選択	1	
ロシア語基礎Ⅰ	選択	1	
ロシア語基礎Ⅱ	選択	1	
ロシア語コミュニケーションⅠ	選択	1	
ロシア語コミュニケーションⅡ	選択	1	
日本語リテラシーⅠ	選択	1	外国人留学生限定
日本語リテラシーⅡ	選択	1	外国人留学生限定
日本語コミュニケーションⅠ	選択	1	外国人留学生限定
日本語コミュニケーションⅡ	選択	1	外国人留学生限定
発展多言語演習ドイツ語	自由	1	
発展多言語演習中国語	自由	1	
発展多言語演習ラテン語Ⅰ	自由	1	
発展多言語演習ラテン語Ⅱ	自由	1	外国人留学生限定
発展多言語演習ラテン語Ⅲ	自由	1	外国人留学生限定
日本語リテラシーⅢ	自由	1	外国人留学生限定
日本語／専門研究	自由	1	外国人留学生限定
日本語／ビジネス	自由	1	外国人留学生限定
健康・スポーツ／講義	選択	1	
健康・スポーツ／実技	必修	1	
情報処理－B	必修	2	
応用情報処理	自由	2	

外国語系

保健
体育系
情報
処理系

別表第2の7 医学部看護学科

系列	授業科目名	必修・ 選択	単位数	備考
人文科学系	哲学のすすめ	選択	2	
	人間と倫理	選択	2	
	こころの科学	選択	2	
	現代と教育	選択	2	
	日本の歴史と社会	選択	2	
	東洋の歴史と社会	選択	2	
	西洋の歴史と社会	選択	2	
	日本文学	選択	2	
	外国文学	選択	2	
	言語と文化	選択	2	
	音楽	選択	2	
	美術	選択	2	
	言語表現	選択	2	
	治療の文化史	選択	2	
	異文化間コミュニケーション	選択	2	
	異文化理解	選択	2	外国人留学生限定
	現代社会論	選択	2	
	日本国憲法	選択	2	
	国家と市民	選択	2	
	経済生活と法	選択	2	
市民生活と法	選択	2		
はじめての経済学	選択	2		
産業と経済を学ぶ	選択	2		
経営資源のとらえ方	選択	2		
市場と企業の関係	選択	2		
地域の経済と社会・文化	選択	2		
地球と環境	選択	2		
物理の世界	選択	2		
化学物質の世界	選択	2		
自然と情報の数理	選択	2		
社会と情報の数理	選択	2		
技術の世界	選択	2		
材料の科学	選択	2		
生活の科学	選択	2		
コンピュータの話	選択	2		
デザインと生物	選択	2		
生命科学 I-C	必修	2		
生命科学 II-C	必修	2		
線形代数学	選択	2		
現代物理学入門	選択	2		
量子化学入門	選択	2		
自然現象のモデル化とその解析	選択	2		
生物無機化学入門	選択	2		
生物化学	選択	2		
医療心理学	選択	1		
概説医療心理学	選択	1		
認知科学	選択	2		

脳科学入門	選択	2
生命科学入門	選択	1
免疫学入門	選択	2
障害とアクセシビリティ	選択	2
医療と地域社会	選択	2
環境	選択	2
ジェンダー	選択	2
技術と社会	選択	2
現代文化	選択	2
人権と福祉	選択	2
環日本海	選択	2
科学と社会	選択	2
アカデミック・デザイン	選択	2
ビジネス思考	選択	2
平和学入門	選択	2
東アジア共同体論-政治・経済・文化・新聞投稿に挑戦	選択	2
富山から考える震災・復興学	選択	2
環境と安全管理	選択	2
万葉学	選択	2
日本海学	選択	2
富山大学学	選択	2
とやま地域学	選択	2
時事的問題	選択	2
災害救援ボランティア論	選択	2
日本事情/芸術文化	選択	2
日本事情/自然社会	選択	2
学士力・人間力基礎	選択	2
富山学	選択	2
地域ライヴブプラン	選択	2
産業観光学	選択	2
富山の地域づくり概論	選択	2
富山の地域づくり	選択	2
英語リテラシー I-D	必修	1
英語リテラシー II-D	必修	1
英語コミュニケーション I-D	必修	1
英語コミュニケーション II-D	必修	1
ドイツ語基礎 I	選択	1
ドイツ語基礎 II	選択	1
ドイツ語コミュニケーション I	選択	1
ドイツ語コミュニケーション II	選択	1
フランス語基礎 I	選択	1
フランス語基礎 II	選択	1
フランス語コミュニケーション I	選択	1
フランス語コミュニケーション II	選択	1
中国語基礎 I	選択	1
中国語基礎 II	選択	1
中国語コミュニケーション I	選択	1
中国語コミュニケーション II	選択	1

総合科目系

外国語系

朝鮮語基礎Ⅰ	選択	1	
朝鮮語基礎Ⅱ	選択	1	
朝鮮語コミュニケーションⅠ	選択	1	
朝鮮語コミュニケーションⅡ	選択	1	
ロシア語基礎Ⅰ	選択	1	
ロシア語基礎Ⅱ	選択	1	
ロシア語コミュニケーションⅠ	選択	1	
ロシア語コミュニケーションⅡ	選択	1	
日本語リテラシーⅠ	選択	1	外国人留学生限定
日本語リテラシーⅡ	選択	1	外国人留学生限定
日本語コミュニケーションⅠ	選択	1	外国人留学生限定
日本語コミュニケーションⅡ	選択	1	外国人留学生限定
発展多言語演習ドイツ語	自由	1	
発展多言語演習中国語	自由	1	
発展多言語演習ラテン語Ⅰ	自由	1	
発展多言語演習ラテン語Ⅱ	自由	1	
発展多言語演習ラテン語Ⅲ	自由	1	外国人留学生限定
日本語リテラシーⅢ	自由	1	外国人留学生限定
日本語/専門研究	自由	1	外国人留学生限定
日本語/ビジネス	自由	1	外国人留学生限定
健康・スポーツ/講義	選択	1	
健康・スポーツ/実技	選択	1	
情報処理Ⅰ	必修	2	
応用情報処理	選択	2	

別表第2の8 薬学部

系列	授業科目名	必修・単位	備考
人文科学系	哲学のすすめ	選択 2	
	人間と倫理	選択 2	
	こころの科学	選択 2	
	現代と教育	選択 2	
	日本の歴史と社会	選択 2	
	東洋の歴史と社会	選択 2	
	西洋の歴史と社会	選択 2	
	日本文学	選択 2	
	外国文学	選択 2	
	言語と文化	選択 2	
	音楽	選択 2	
	美術	選択 2	
	言語表現	選択 2	
	治療の文化史	選択 2	
	異文化間コミュニケーション	選択 2	
	異文化理解	選択 2	外国人留学生限定
	現代社会論	選択 2	
	日本国憲法	選択 2	
	国家と市民	選択 2	
	経済生活と法	選択 2	
市民生活と法	選択 2		
社会科学系	はじめの経済学	選択 2	
	産業と経済を学ぶ	選択 2	
	経営資源のとらえ方	選択 2	
	市場と企業の関係	選択 2	
	地域の経済と社会・文化	選択 2	
	地球と環境	自由 2	
	生命の世界	自由 2	
	物理の世界	自由 2	
	化学物質の世界	自由 2	
	自然と情報の数理	自由 2	
自然科学系	社会と情報の数理	自由 2	
	技術の世界	自由 2	
	材料の科学	自由 2	
	生活の科学	自由 2	
	コンピュータの話	自由 2	
	アザインと生物	自由 2	
	生命科学Ⅰ-B	必修 2	
	生命科学Ⅱ-B	必修 2	
	生物学実験-B	必修 1	
	解剖学-A	選択 2	解剖学-Aと解剖学-Bからいずれか一つを選択必修
解剖学-B	選択 2	解剖学-Aと解剖学-Bからいずれか一つを選択必修	
線形代数	選択 2		
物理学Ⅰ-A	選択 2	物理学Ⅰ-Aと物理学Ⅰ-Bからいずれか一つを選択必修	
物理学Ⅰ-B	選択 2	物理学Ⅰ-Aと物理学Ⅰ-Bからいずれか一つを選択必修	
物理学Ⅱ-A	選択 2	物理学Ⅱ-Aと物理学Ⅱ-Bからいずれか一つを選択必修	

	日本語/専門研究	自由	1	外国人留學生限定
	日本語/ビジネス	自由	1	外国人留學生限定
保健 体育系	健康・スポーツ/講義	選択	1	
	健康・スポーツ/実技	必修	1	
情報 処理系	情報処理-B	必修	2	
	応用情報処理	自由	2	

別表第2の9 工学部

系列	授業科目名	必修・選 択	単位数	備考
人文科学系	哲学のすすめ	選択	2	
	人間と倫理	選択	2	
	こころの科学	選択	2	
	現代と教育	選択	2	
	日本の歴史と社会	選択	2	
	東洋の歴史と社会	選択	2	
	西洋の歴史と社会	選択	2	
	日本文学	選択	2	
	外国文学	選択	2	
	言語と文化	選択	2	
	音楽	選択	2	
	美術	選択	2	
	言語表現	選択	2	
	治療の文化史	選択	2	
	異文化間コミュニケーション	選択	2	
	異文化理解	選択	2	外国人留學生限定
	現代社会論	選択	2	
	日本国憲法	選択	2	
	国家と市民	選択	2	
	経済生活と法	選択	2	
市民生活と法	選択	2		
はじめの経済学	選択	2		
産業と経済を学ぶ	選択	2		
経営資源のとらえ方	選択	2		
市場と企業の関係	選択	2		
地域の経済と社会・文化	選択	2		
地球と環境	選択	2		
生命の世界	選択	2		
物理の世界	選択	2		
化学物質の世界	選択	2		
自然と情報の数理	選択	2		
社会と情報の数理	選択	2		
技術の世界	選択	2		
材料の科学	選択	2		
生活の科学	選択	2		
コンピュータの話	選択	2		
デザインと生物	選択	2		
生命科学 I-A	選択	2		
生命科学 I-B	選択	2		
生命科学 I-C	選択	2		
生命科学 II-A	選択	2		
生命科学 II-B	選択	2		
生命科学 II-C	選択	2		
自然現象のモデル化とその解析	選択	2		
生物無機化学入門	選択	2		
物理学序説 I	選択	2		
社会科学系	現代社会論	選択	2	
	日本国憲法	選択	2	
	国家と市民	選択	2	
	経済生活と法	選択	2	
	市民生活と法	選択	2	
	はじめの経済学	選択	2	
	産業と経済を学ぶ	選択	2	
	経営資源のとらえ方	選択	2	
	市場と企業の関係	選択	2	
	地域の経済と社会・文化	選択	2	
自然科学系	地球と環境	選択	2	
	生命の世界	選択	2	
	物理の世界	選択	2	
	化学物質の世界	選択	2	
	自然と情報の数理	選択	2	
	社会と情報の数理	選択	2	
	技術の世界	選択	2	
	材料の科学	選択	2	
	生活の科学	選択	2	
	コンピュータの話	選択	2	
理系基礎 数教育系	デザインと生物	選択	2	
	生命科学 I-A	選択	2	
	生命科学 I-B	選択	2	
	生命科学 I-C	選択	2	
	生命科学 II-A	選択	2	
	生命科学 II-B	選択	2	
	生命科学 II-C	選択	2	
	自然現象のモデル化とその解析	選択	2	
	生物無機化学入門	選択	2	
	物理学序説 I	選択	2	

医療・健康科学系	物理学序説Ⅱ	選択	2	
	生物圏環境科学概論	選択	2	
	医療心理学	選択	2	
	概説医療心理学	選択	1	
	認知科学	選択	2	
	脳科学入門	選択	2	
	生命科学入門	選択	1	
	免疫学入門	選択	2	
	身近な医学	選択	2	
	障害とアクセシビリティ	選択	2	
	医療と地域社会	選択	2	
	環境	選択	2	
	ジェンダー	選択	2	
	技術と社会	選択	2	
	現代文化	選択	2	
	人権と福祉	選択	2	
	環日本海	選択	2	
	科学と社会	選択	2	
	アカデミック・デザイン	選択	2	
	ビジネス思考	選択	2	
	平和学入門	選択	2	
	東アジア共同体論-政治・経済・文化・新聞投稿に挑戦	選択	2	
	富山から考える震災・復興学	選択	2	
	環境と安全管理	選択	2	
	万薬学	選択	2	
	日本海学	選択	2	
	富山大学学	選択	2	
	とやま地域学	選択	2	
	時事的問題	選択	2	
	災害教授ポランテンティア論	選択	2	
	感性をはぐくむ	選択	2	
	日本事情/芸術文化	選択	2	外国人留学生限定
	学士力・人間力基礎	選択	2	外国人留学生限定
	富山学	選択	2	
	地域ライフブラン	選択	2	
	産業観光学	選択	2	
	富山のものづくり概論	選択	2	
	富山の地域づくり	選択	2	
英語リテラシーⅠ-A	必修	1		
英語リテラシーⅡ-A	必修	1		
英語コミュニケーションⅠ-A	必修	1		
英語コミュニケーションⅡ-A	必修	1		
ドイツ語基礎Ⅰ	選択	1		
ドイツ語基礎Ⅱ	選択	1		
ドイツ語コミュニケーションⅠ	選択	1		
ドイツ語コミュニケーションⅡ	選択	1		
フランス語基礎Ⅰ	選択	1		
フランス語基礎Ⅱ	選択	1		

保健 体育系 情報 処理系	フランス語コミュニケーションⅠ	選択	1	
	フランス語コミュニケーションⅡ	選択	1	
	中国語基礎Ⅰ	選択	1	
	中国語基礎Ⅱ	選択	1	
	中国語コミュニケーションⅠ	選択	1	
	中国語コミュニケーションⅡ	選択	1	
	朝鮮語基礎Ⅰ	選択	1	
	朝鮮語基礎Ⅱ	選択	1	
	朝鮮語コミュニケーションⅠ	選択	1	
	朝鮮語コミュニケーションⅡ	選択	1	
	ロシア語基礎Ⅰ	選択	1	
	ロシア語基礎Ⅱ	選択	1	
	ロシア語コミュニケーションⅠ	選択	1	
	ロシア語コミュニケーションⅡ	選択	1	
	日本語リテラシーⅠ	必修	1	外国人留学生限定
	日本語リテラシーⅡ	必修	1	外国人留学生限定
	日本語コミュニケーションⅠ	必修	1	外国人留学生限定
	日本語コミュニケーションⅡ	必修	1	外国人留学生限定
	発展多言語演習ドイツ語	自由	1	
	発展多言語演習中国語	自由	1	
	発展多言語演習ラテン語Ⅰ	自由	1	
	発展多言語演習ラテン語Ⅱ	自由	1	
	日本語コミュニケーションⅢ	自由	1	外国人留学生限定
	日本語リテラシーⅢ	自由	1	外国人留学生限定
	日本語/専門研究	自由	1	外国人留学生限定
	日本語/ビジネス	自由	1	外国人留学生限定
	健康・スポーツ/講義	選択	1	
	健康・スポーツ/実技	選択	1	
	情報処理-A	必修	2	
	応用情報処理	選択	2	

別表第2の10 芸術文化学部

系列	授業科目名	必修・ 選択	単 位 数	備考
人文 科学系	哲学のすすめ	選択	2	
	人間と倫理	選択	2	
	こころの科学	選択	2	
	現代と教育	選択	2	
	日本の歴史と社会	選択	2	
	東洋の歴史と社会	選択	2	
	西洋の歴史と社会	選択	2	
	日本文学	選択	2	
	外国文学	選択	2	
	言語と文化	選択	2	
	音楽	選択	2	
	美術	選択	2	
	言語表現	選択	2	
	異文化理解	選択	2	外国人留学生限定
	現代社会論	選択	2	
	日本国憲法	選択	2	
	国家と市民	選択	2	
	経済生活と法	選択	2	
	市民生活と法	選択	2	
	はじめての経済学	選択	2	
産業と経済を学ぶ	選択	2		
経営資源のとりえ方	選択	2		
市場と企業の関係	選択	2		
地域の経済と社会・文化	選択	2		
地球と環境	選択	2		
生命の世界	選択	2		
物理の世界	選択	2		
化学物質の世界	選択	2		
自然と情報の数理	選択	2		
社会と情報の数理	選択	2		
技術の世界	選択	2		
材料の科学	選択	2		
生活の科学	選択	2		
コンピュータと生物	選択	2		
デザインと生物	選択	2		
微分積分I-E	選択	2		
線形代数I-E	選択	2		
身近な医学	選択	2		
障害とアクセシビリティ	選択	2		
環境	選択	2		
ジェンダー	選択	2		
技術と社会	選択	2		
現代文化	選択	2		
人権と福祉	選択	2		
環日本海	選択	2		
科学と社会	選択	2		

アカデミック・デザイン	選択	2	
ビジネス思考	選択	2	
平和学入門	選択	2	
東アジア共同体論－政治・経済・文化・新聞投稿に挑戦	選択	2	
富山から考える震災・復興学	選択	2	
環境と安全管理	選択	2	
万葉学	選択	2	
日本海学	選択	2	
富山大学学	選択	2	
とやま地域学	選択	2	
時事的問題	選択	2	
災害救済ボランティア論	選択	2	
感性をほぐくむ	選択	2	
日本事情／芸術文化	選択	2	外国人留学生限定
日本事情／自然社会	選択	2	外国人留学生限定
学士力・人間力基礎	選択	2	
富山学	選択	2	
地域ライブララン	選択	2	
産業観光学	選択	2	
富山のものづくり概論	選択	2	
富山の地域づくり	選択	2	
英語リテラシーI-E	必修	1	
英語リテラシーII-E	必修	1	
英語コミュニケーションI-E	必修	1	
英語コミュニケーションII-E	必修	1	
ドイツ語基礎I	選択	1	
ドイツ語基礎II	選択	1	
ドイツ語コミュニケーションI	選択	1	
ドイツ語コミュニケーションII	選択	1	
フランス語基礎I	選択	1	
フランス語基礎II	選択	1	
フランス語コミュニケーションI	選択	1	
フランス語コミュニケーションII	選択	1	
中国語基礎I	選択	1	
中国語基礎II	選択	1	
中国語コミュニケーションI	選択	1	
中国語コミュニケーションII	選択	1	
朝鮮語基礎I	選択	1	
朝鮮語基礎II	選択	1	
朝鮮語コミュニケーションI	選択	1	
朝鮮語コミュニケーションII	選択	1	
ロシア語基礎I	選択	1	
ロシア語基礎II	選択	1	
ロシア語コミュニケーションI	選択	1	
ロシア語コミュニケーションII	選択	1	
日本語リテラシーI	選択	1	外国人留学生限定
日本語リテラシーII	選択	1	外国人留学生限定
日本語コミュニケーションI	選択	1	外国人留学生限定
日本語コミュニケーションII	選択	1	外国人留学生限定

外国語系

発展多言語演習ドイツ語	自由	1
発展多言語演習中国語	自由	1
発展多言語演習ラテン語 I	自由	1
発展多言語演習ラテン語 II	自由	1
発展多言語演習ラテン語 III	自由	1
健康・スポーツ/講義	選択	1
健康・スポーツ/実技	必修	1
情報処理 - C	必修	2

別表第 2 の 11 都市デザイン学部

系列	授業科目名	必修・ 選択	単位 数	備考
人文科学系	哲学のすすめ	選択	2	
	人間と倫理	選択	2	
	こころの科学	選択	2	
	現代と教育	選択	2	
	日本の歴史と社会	選択	2	
	東洋の歴史と社会	選択	2	
	西洋の歴史と社会	選択	2	
	日本文学	選択	2	
	外国文学	選択	2	
	言語と文化	選択	2	
	音楽	選択	2	
	美術	選択	2	
	言語表現	選択	2	
	治癒の文化史	選択	2	
	異文化間コミュニケーション	選択	2	
	異文化理解	選択	2	外国人留学生限定
	現代社会論	選択	2	
	日本国憲法	選択	2	
	国家と市民	選択	2	
	社会科学系	経済生活と法	選択	2
市民生活と法		選択	2	
はじめの経済学		選択	2	
産業と経済を学ぶ		選択	2	
経営資源のとりえ方		選択	2	
市場と企業の関係		選択	2	
地域の経済と社会・文化		選択	2	
地球と環境		選択	2	
生命の世界		選択	2	
物理の世界		選択	2	
化学物質の世界		選択	2	
自然と情報の数理		選択	2	
社会と情報の数理		選択	2	
技術の世界		選択	2	
自然科学系	材料の科学	選択	2	
	生活の科学	選択	2	
	コンピュータの話	選択	2	
	デザインと生物	選択	2	
	医葯心理学	選択	2	
	概説医療心理学	選択	1	
	認知科学	選択	2	
	脳科学入門	選択	2	
	生命科学入門	選択	1	
	免疫学入門	選択	2	
	身近な医学	選択	2	
	障書とアクセンビリティ	選択	2	

総合科目系	医療と地域社会	選択	2
	環境	選択	2
	ジェンダー	選択	2
	技術と社会	選択	2
	現代文化	選択	2
	人権と福祉	選択	2
	環日本海	選択	2
	科学と社会	選択	2
	アカデミック・デザイン	選択	2
	ビジネス思考	選択	2
	平和学入門	選択	2
	東アジア共同体論－政治・経済・文化・新聞投稿に挑戦	選択	2
	富山から考える震災・復興学	選択	2
	環境と安全管理	選択	2
	万葉学	選択	2
	日本海学	選択	2
	富山大学学	選択	2
	とやま地域学	選択	2
	時事的問題	選択	2
	災害救援ボランティア論	選択	2
	感性をはぐくむ	選択	2
	日本事情／芸術文化	選択	2
	日本事情／自然社会	選択	2
	学士力・人間力基礎	選択	2
	富山学	選択	2
	地域ライフプラン	選択	2
	産業観光学	選択	2
	富山のものづくり概論	選択	2
	富山の地域づくり	選択	2
	英語リテラシーⅠ－A	必修	1
	英語リテラシーⅡ－A	必修	1
	英語コミュニケーションⅠ－A	必修	1
	英語コミュニケーションⅡ－A	必修	1
	ドイツ語基礎Ⅰ	選択	1
	ドイツ語基礎Ⅱ	選択	1
	ドイツ語コミュニケーションⅠ	選択	1
	ドイツ語コミュニケーションⅡ	選択	1
	フランス語基礎Ⅰ	選択	1
	フランス語基礎Ⅱ	選択	1
	フランス語コミュニケーションⅠ	選択	1
フランス語コミュニケーションⅡ	選択	1	
中国語基礎Ⅰ	選択	1	
中国語基礎Ⅱ	選択	1	
中国語コミュニケーションⅠ	選択	1	
中国語コミュニケーションⅡ	選択	1	
朝鮮語基礎Ⅰ	選択	1	
朝鮮語基礎Ⅱ	選択	1	
朝鮮語コミュニケーションⅠ	選択	1	
朝鮮語コミュニケーションⅡ	選択	1	

保健体育系 情報処理系	ロシア語基礎Ⅰ	選択	1
	ロシア語基礎Ⅱ	選択	1
	ロシア語コミュニケーションⅠ	選択	1
	ロシア語コミュニケーションⅡ	選択	1
	日本語リテラシーⅠ	選択	1
	日本語リテラシーⅡ	選択	1
	日本語コミュニケーションⅠ	選択	1
	日本語コミュニケーションⅡ	選択	1
	発展多言語演習ドイツ語	自由	1
	発展多言語演習中国語	自由	1
	発展多言語演習ラテン語Ⅰ	自由	1
	発展多言語演習ラテン語Ⅱ	自由	1
	日本語コミュニケーションⅢ	自由	1
	日本語リテラシーⅢ	自由	1
	日本語／専門研究	自由	1
	日本語／ビジネス	自由	1
	健康・スポーツ／講義	選択	1
	健康・スポーツ／実技	選択	1
	情報処理－A	必修	2
	応用情報処理	選択	2

別表第3 修得単位数 (第6条関係)

1 人文学部

	必修科目	選択科目	
人文学系	—	2 単位以上	地域志向科目を1科目 2単位を必ず含むこ と。
社会科学系	—	2 単位以上	
自然科学系	—	4 単位以上	
医療・健康科学系	—		
総合科目系	—	4 単位以上	
外国語系	4 単位	4 単位	英語以外の外国語は同 一言語のみで4 単位選 択必修
保健体育系	2 単位	—	
情報処理系	2 単位		
計	8 単位	16 単位以上	

卒業要件単位として算入する単位の上限
1. 選択科目として16 単位を超えて修得した単位は、16 単位まで卒業要件単位として算入する。
ただし、各系の上限は次のとおりとする。
① 人文学系で2 単位を超えて修得した単位は4 単位まで。
② 社会科学系で2 単位を超えて修得した単位は4 単位まで。
③ 自然科学系及び医療・健康科学系で4 単位を超えて修得した単位は2 単位まで。
④ 総合科目系で4 単位を超えて修得した単位は2 単位まで。
⑤ 外国語系で4 単位を超えて修得した単位は4 単位まで。
⑥ 情報処理系で修得した単位は2 単位まで。
2. 卒業要件単位として算入する単位の上限を超えて修得した単位については、自由単位として
単位認定をする。ただし、卒業要件単位として算入はしない。

2 人間発達科学部

	必修科目	選択科目	
人文学系	—	10 単位以上 ただし、人文学系 から2 単位以上、 社会科学系から2 単位以上、自然科学 系から2 単位以上 を含むこと。	地域志向科目を1 科目 2 単位を必ず含むこ と。
社会科学系	—		
自然科学系	—		
医療・健康科学系	—		
総合科目系	—	2 単位以上	
外国語系	4 単位	2 単位以上	英語以外の外国語は同 一言語のみで2 単位選 択必修
保健体育系	2 単位	—	
情報処理系	2 単位		
計	8 単位	14 単位以上	

卒業要件単位として算入する単位の上限
1. 選択科目として14 単位を超えて修得した単位は、医療・健康科学系及び情報処理系で修得
した単位を含め、10 単位まで卒業要件単位として算入する。
2. 卒業要件単位として算入する単位の上限を超えて修得した単位については、自由単位として
単位認定をする。ただし、卒業要件単位として算入はしない。

3 経済学部 (昼間主コース)

	必修科目	選択科目	
人文科学系	—	4 単位以上	地域志向科目を 1 科目 2 単位を必ず含むこと。
社会科学系	—	4 単位以上	
自然科学系	—		
医療・健康科学系	—		
総合科目系	—	2 単位以上	
外国語系	4 単位	4 単位	英語以外の外国語は同一言語のみで 4 単位選択必修
保健体育系	2 単位	—	
情報処理系	2 単位		
計	8 単位	16 単位以上	

卒業要件単位として算入する単位の上限
 1. 選択科目として 16 単位を超えて修得した単位は、社会科学系及び情報処理系で修得した単位を含め、10 単位まで卒業要件単位として算入する。
 2. 卒業要件単位として算入する単位の上限を超えて修得した単位については、自由単位として単位認定をする。ただし、卒業要件単位として算入はしない。

4 経済学部 (夜間主コース)

	必修科目	選択科目	
人文科学系	—	14 単位以上	地域志向科目を 1 科目 2 単位を必ず含むこと。
社会科学系	—		
自然科学系	—		
医療・健康科学系	—		
総合科目系	—		
外国語系	4 単位		
保健体育系	1 単位	—	
情報処理系	2 単位		
計	7 単位	14 単位以上	

卒業要件単位として算入する単位の上限
 1. 選択科目として 14 単位を超えて修得した単位は、情報処理系で修得した選択科目を含め、8 単位まで卒業要件単位として算入する。
 2. 卒業要件単位として算入する単位の上限を超えて修得した単位については、自由単位として単位認定をする。ただし、卒業要件単位として算入はしない。

5 理学部

必修科目	選択科目	地域志向科目を1科目2単位を必ず含むこと。 (自然科学系は含まない。)
—	6 単位	
—	6 単位	
—	6 単位以上	
—		
4 単位	2 単位以上	英語以外の外国語は同一言語のみで2単位選択必修
2 単位	—	
2 単位		
8 単位	20 単位以上	
<p>卒業要件単位として算入する単位の上限</p> <p>1. 選択科目として20単位を超えて修得した単位は、12単位まで卒業要件単位として算入する。ただし、各系の上限は次のとおりとする。</p> <p>① 人文科学系、社会科学系でそれぞれ6単位を超えて修得した単位及び自然科学系で取得した単位は、合計4単位まで。</p> <p>② 医療・健康科学系及び総合科目系で6単位を超えて修得した単位は4単位まで。</p> <p>③ 外国語系で2単位を超えて修得した単位は4単位まで。</p> <p>④ 情報処理系で修得した単位は2単位まで。</p> <p>2. 卒業要件単位として算入する単位の上限を超えて修得した単位については、自由単位として単位認定をする。ただし、卒業要件単位として算入はしない。</p>		

6 医学部医学科

必修科目	選択科目	地域志向科目を1科目2単位を必ず含むこと。 (理系基礎教育系は含まない。)
—	6 単位	
—		
11 単位	次の組み合わせから各2単位、計6単位 ①「解析学-A」と「解析学-B」 ②「物理学 I -A」と「物理学 I -B」 ③「物理学 II -A」と「物理学 II -B」	理系基礎教育系、医療・健康科学系及び保健体育系から2単位以上を含まぬ4単位
1 単位		
—		
4 単位	2 単位	
1 単位		
2 単位	—	
19 単位	18 単位	英語以外の外国語は同一言語のみで2単位選択必修

7 医学部看護学科

	必修科目	選択科目	
人文科学系	—	6単位	地域志向科目を1科目2単位を必ず含むこと。 (理系基盤教育系は含まない。)
社会科学系	—		
自然科学系	—	4単位	
理系基盤教育系	4単位		
医療・健康科学系	—	4単位	
総合科目系	—		
外国語系	4単位		
保健体育系	—	1単位	
情報処理系	2単位		
計	10単位	20単位	

8 薬学部

	必修科目	選択科目	
人文科学系	—	4単位	4単位
社会科学系	—	4単位	
理系基盤教育系	9単位	次の組み合わせから各2単位、計6単位 ①「解析学-A」と「解析学-B」 ②「物理学 I-A」と「物理学 I-B」 ③「物理学 II-A」と「物理学 II-B」	
医療・健康科学系	—	2単位	
総合科目系	—		
外国語系	—	次の組み合わせから各1単位以上修得し、計6単位修得 ①「英語リテラシー I-C」と「英語リテラシー II-C」 ②「英語コミュニケーション I-C」と「英語コミュニケーション II-C」	
保健体育系	1単位		
情報処理系	2単位	—	
計	12単位	26単位	

9 工学部

	必修科目	選択科目	
人文科学系	—	12 単位以上 ただし、人文科学系 4 単位以上、社会科学系 4 単位以上を含むこと。	地域志向科目を 1 科目 2 単位を必ず含むこと。 (理系基盤教育系は含まない。)
社会科学系	—		
自然科学系	—		
理系基盤教育系	—		
医療・健康科学系	—		
総合科目系	—	4 単位	
外国語系	4 単位		外国人留学生は「日本語リテラシーⅠ」、「日本語リテラシーⅡ」、「日本語コミュニケーションⅠ」、「日本語コミュニケーションⅡ」を必修とする。
保健体育系	—	1 単位	
情報処理系	2 単位		
計	6 単位	17 単位以上	

卒業要件単位として算入する単位の上限
1. 選択科目として 17 単位を超えて修得した単位は、人文科学系及び社会科学系で合計 12 単位を超えて修得した単位、自然科学系、理系基盤教育科目並びに医療・健康科学系で修得した単位を含め、10 単位まで卒業要件単位として算入する。
ただし、各系の上限は次のとおりとする。
① 総合科目系で 4 単位を超えて修得した単位は 2 単位まで。
② 外国語系で 4 単位を超えて修得した単位は 4 単位まで。
③ 保健体育系で 1 単位を超えて修得した単位は 1 単位まで。
④ 情報処理系で 2 単位を超えて修得した単位は 2 単位まで。
2. 卒業要件単位として算入する単位の上限を超えて修得した単位については、自由単位として単位認定をする。ただし、卒業要件単位として算入はしない。

10 芸術文化学部

	必修科目	選択科目	
人文科学系	—	4 単位	地域志向科目を 1 科目 2 単位を必ず含むこと。 外国人留学生は外国語系科目全てを選択科目とし、当該留学生にとつての外国語科目の中から 6 単位以上
社会科学系	—		
自然科学系	—	4 単位	
医療・健康科学系	—		
総合科目系	—	4 単位	
外国語系	4 単位	2 単位	
理系基盤教育系	—		
保健体育系	1 単位		
情報処理系	2 単位	—	
計	7 単位	21 単位以上	

卒業要件単位として算入する単位の上限
1. 選択科目として 21 単位を超えて修得した単位は、10 単位まで卒業要件単位として算入する。
2. 卒業要件単位として算入する単位の上限を超えて修得した単位については、自由単位として単位認定をする。ただし、卒業要件単位として算入はしない。

11 都市デザイン学部

	必修科目	選択科目	
人文科学系	—	16 単位以上 ただし、人文科学系から 4 単位以上、社会科学系から 4 単位以上、総合科目系から 4 単位以上を含むこと。	地域志向科目を 2 科目 4 単位を必ず含むこと。
社会科学系	—		
自然科学系	—		
医療・健康科学系	—		
総合科目系	—		
外国語系	4 単位		
保健体育系	—	1 単位	
情報処理系	2 単位		
計	6 単位	17 単位以上	

卒業要件単位として算入する単位の上限

1. 選択科目として 17 単位を超えて修得した単位は、外国語系並びに情報処理系で修得した選択科目を含め、10 単位まで卒業要件単位として算入する。

2. 卒業要件単位として算入する単位の上限を超えて修得した単位については、自由単位として単位認定をする。ただし、卒業要件単位として算入はしない。

富山大学教養教育追試験内規

平成30年2月9日制定

(趣旨)

第1条 この内規は、富山大学教養教育履修規則（以下「規則」という。）第13条第2項の規定に基づき、教養教育の授業科目の追試験に関し必要な事項を定める。

(追試験願)

第2条 追試験を願う場合は、当該科目の試験実施日より又は試験実施の翌日から原則として5日以内（土、日及び祝日を除く。）に、別に定める追試験許可願に掲げる欠席理由を客観的に証明する書類等を添えて、学務部学務課に提出しなければならない。

(休学期間中の追試験)

第3条 休学期間中に実施された試験については、追試験の対象としない。

(追試験の実施)

第4条 追試験を行う場合、原則として当該学期中に実施する。

2 追試験は原則として当該授業科目の担当教員が行う。

(その他)

第5条 この内規に定めるもののほか、教養教育の授業科目の追試験に必要な事項は、教養教育企画実施委員会の意見を聴いて、教養教育院長が定める。

附 則

この内規は、平成30年4月1日から施行する。

本人の傷病	欠席理由	欠席理由を証明する書類等
親族（三親等以内）の死亡	医師の診断書	医師の診断書
就職活動（ただし、採用面接（試験）の受験、採用面接（試験）の受験資格となる説明会への出席に限る。）	会社様状又は死亡診断書 企業、官公庁等発行の証明書又は通知文（就職活動の採用面接（試験）又は採用面接（試験）の受験資格となる説明会の場所、日時及び内容が明記されていること。）	会社様状又は死亡診断書 企業、官公庁等発行の証明書又は通知文（就職活動の採用面接（試験）又は採用面接（試験）の受験資格となる説明会の場所、日時及び内容が明記されていること。）
交通機関の遅延	交通機関の遅延	交通機関の遅延証明書
災害（台風、水害、火災、地震等）	被災証明書	被災証明書等災害の状況が把握できる書類
実習（ただし、教育実習、介護等体験、臨床実習、臨地実習、臨床実務実習、博物館実習及びびイニターシップに限る。）	実習が明記されている協定書等の書類	実習が明記されている協定書等の書類
課外活動における地区大会等を経た全国大会レベル以上の大会出場（ただし、選手又は団員として、競技や実演に出場する場合に限る。）	次に掲げる書類 1) 招聘機関等発行の証明書又は派遣依頼書 2) 当該大会等の内容が分かる書類	次に掲げる書類 1) 招聘機関等発行の証明書又は派遣依頼書 2) 当該大会等の内容が分かる書類
裁判員制度に基づく要請	裁判所からの要請等を証明する書類	裁判所からの要請等を証明する書類
交通事故	警察が発行した事故証明	警察が発行した事故証明
その他公的機関からの要請	公的機関からの要請等を証明する書類等	公的機関からの要請等を証明する書類等

2 前項により提出された書類により、真にやむを得ない事由により試験を受けることができなくなったものであると教養教育院長が認めた場合に限り、1授業科目につき1回に限り追試験を許可する。

3 追試験を行う場合は、学生揭示等により当該学生に通知する。

富山大学教養教育再履修内規

平成30年2月9日制定

(趣旨)

第1条 この内規は、富山大学教養教育履修規則（以下「規則」という。）第14条第2項の規定に基づき、教養教育の授業科目の再履修に関し必要な事項を定める。

(再履修の手続)

第2条 再履修を願い出る場合は、規則第9条第1項に規定する履修申告期間中に、所定の手続きをしなければならない。

2 再履修を願い出た後に、当該授業科目の再履修を取りやめるときは、規則第9条第3項に規定する期日までに再履修の取消しを登録しなければならない。

(再履修の成績評価)

第3条 再履修における成績評価は、規則第11条の定めるところによる。

(その他)

第4条 この内規に定めるもののほか、教養教育の授業科目の再履修に関し必要な事項は、教養教育企画実施委員会の意見を聴いて教養教育院長が定める。

附 則

この内規は、平成30年4月1日から施行する。

富山大学教養教育再試験内規

平成30年2月9日制定

(趣旨)

第1条 この内規は、富山大学教養教育履修規則（以下「規則」という。）第15条第1項に規定する再試験の実施に当たり、同条第2項の規定に基づき、必要な事項を定める。

(再試験の手続)

第2条 再試験を願い出る場合は、別に定める再試験許可願に再試験が必要な理由等を証明する書類を添えて、所属する学部の長に提出しなければならない。

2 前項の願い出により所属する学部の長が再試験の実施が必要と認めた場合は、教養教育院長に再試験の実施を依頼する。

3 教養教育院長は、教養教育企画実施委員会の意見を聴いて、再試験の実施の可否を決定する。

4 所属する学部の長は、再試験の実施の可否を当該学生に通知する。

(再試験の実施)

第3条 再試験は原則として1授業科目につき、1回に限り再試験を実施する。

2 再試験は、次学期又は次年度の試験期日に実施する。

3 再試験は、当該授業科目の担当教員が実施する。

(再試験の成績評価)

第4条 再試験における成績評価は、可又は不可とする。

(その他)

第5条 この内規に定めるもののほか、再試験の実施に関し必要な事項は、教養教育企画実施委員会の意見を聴いて、教養教育院長が定める。

附 則

この内規は、平成30年4月1日から施行する。

■巻末資料

各種担当窓口・緊急時の問い合わせ窓口

主な事務	担当窓口	電話番号
教養教育に関する事など	学務課教養教育支援室	076-445-6031
人文学部	人社系学務課	076-445-6138
人間発達科学部		076-445-6259
経済学部		076-445-6517
理学部	理工系学務課	076-445-6547
工学部		076-445-6701
都市デザイン学部		076-445-6698
医学部・薬学部	医薬系学務課	076-434-7126
医学薬学教育部		076-434-7658
芸術文化学部	芸術文化学部総務課学務チーム	0766-25-9130

平成30(2018)年度

富山大学 **教養教育ガイド**

発行 富山大学 学務部学務課教養教育支援室
富山市五福 3190
